

第2章 本市を取り巻く現状と課題

第1節 立地適正化計画により解決を図る課題

「相馬市都市計画マスタープラン」において整理した都市づくりの課題から、特にコンパクトシティの形成と合わせて施策展開することで、課題解決を図ることが効果的と考えられるものを整理します。

表1 相馬市都市計画マスタープランで整理を行った都市づくりの課題

都市づくりの課題
(1) 人口減少対策 ①中心市街地における人口密度の維持 ②空き地、空き家への対応
(2) 産業の振興 ①農林水産業の再生 ②企業誘致による経済活性化
(3) 公共交通ネットワークの維持
(4) 災害対策の強化
(5) 震災復興に向けた土地利用
(6) インフラ整備と維持管理
(7) デジタル技術の活用

【立地適正化計画により解決を図る課題】

第2節 都市の現状と課題

1. 人口動向

(1) 人口等

①人口・世帯数の推移

令和6年10月1日現在、本市の住民基本台帳人口は32,356人、世帯数は14,261世帯となっています。

本市の人口は、昭和60年代をピークに減少傾向にあり、特に、東日本大震災の影響もある平成22年から平成23年の間には1,151人（3.0%）減少しました。一方、核家族化が進む中で、世帯数については増加傾向にあります。

表2 人口・世帯数の推移

	総人口	世帯数	1世帯あたり人数
昭和60年（1985年）	39,895	10,674	3.7
平成2年（1990年）	39,680	11,083	3.6
平成7年（1995年）	39,870	11,756	3.4
平成12年（2000年）	39,593	12,417	3.2
平成17年（2005年）	39,242	13,142	3.0
平成22年（2010年）	38,121	13,694	2.8
平成27年（2015年）	35,965	14,225	2.5
令和2年（2020年）	34,400	14,366	2.4
令和6年（2024年）	32,356	14,261	2.3

出典：住民基本台帳（各年10月1日現在）

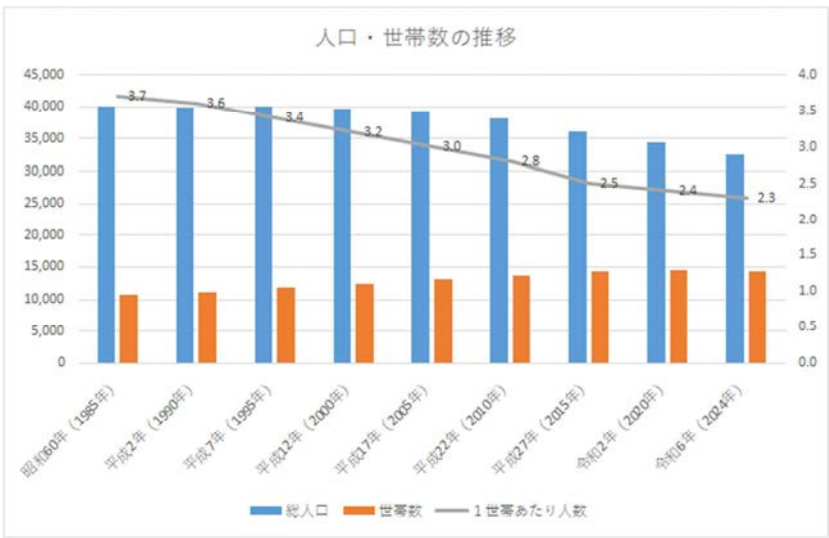


図5 人口・世帯数の推移

②年齢3区分別人口

本市の人口構造を年齢3区分別に見ると、年少人口比率（15歳未満）は昭和60年以降連続して下がり、昭和60年は対総人口比22.7%であったのが、令和6年には11.3%となっています。人数で見ても、昭和60年の9,037人から令和6年には3,642人にまで減少しています。生産年齢人口（15～64歳）は、昭和60年以降緩やかに減少し、対総人口比で見ても、年々減少傾向にあります。

一方、高齢者人口（65歳以上）については、人数、対総人口比ともに一貫して増加し、昭和60年の5,156人から令和6年には10,789人と、約2.1倍に増加しています。また、令和6年の高齢化率は、全国が29.3%（概算値）に対し、本市は33.3%と全国平均を大きく上回っています。

表3 人口構造

	総人口	年少人口		生産年齢人口		高齢者人口	
		15歳未満（人）	構成比（%）	15～64歳（人）	構成比（%）	65歳以上（人）	構成比（%）
昭和60年（1985年）	39,895	9,037	22.7%	25,702	64.4%	5,156	12.9%
平成2年（1990年）	39,680	7,968	20.1%	25,531	64.3%	6,175	15.6%
平成7年（1995年）	39,870	7,071	17.7%	25,365	63.6%	7,434	18.6%
平成12年（2000年）	39,593	6,203	15.7%	24,829	62.7%	8,561	21.6%
平成17年（2005年）	39,242	5,756	14.7%	24,240	61.8%	9,246	23.6%
平成22年（2010年）	38,121	5,266	13.8%	23,282	61.1%	9,573	25.1%
平成27年（2015年）	35,965	4,642	12.9%	21,130	58.8%	10,193	28.3%
令和2年（2020年）	34,400	4,195	12.2%	19,422	56.5%	10,783	31.3%
令和6年（2024年）	32,356	3,642	11.3%	17,925	55.4%	10,789	33.3%

※平成2年（1990年）は、年齢不詳があるため、総人口と一致しない。出典：住民基本台帳（各年10月1日現在）

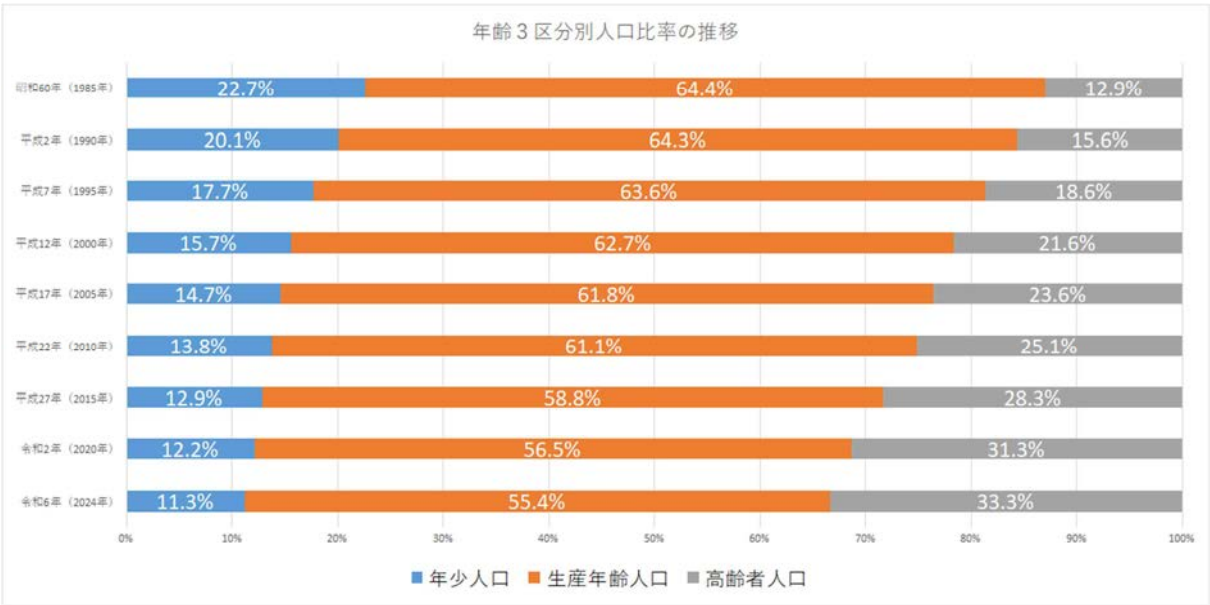


図6 年齢3区分別比率の推移

（2）小地域人口

①総人口

令和2（2020）年国勢調査の小地域（町丁・字等）の状況をみると、人口はJ R相馬駅を含む中心市街地に集積しており、新沼字刈敷田に人口の集積が比較的高い箇所がみられます。

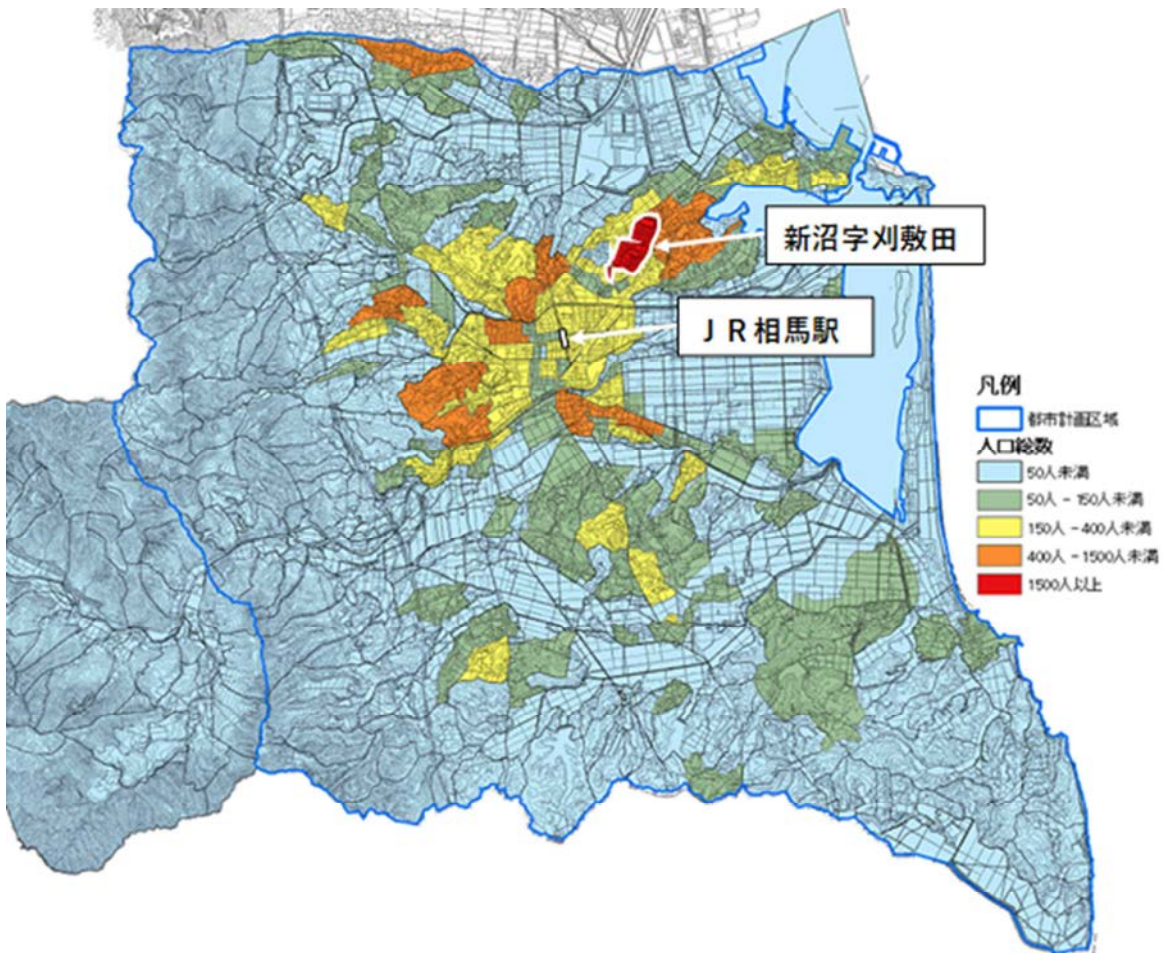


図7 小地域人口（令和2（2020）年総人口）

②年少人口

年少人口については、J R相馬駅周辺では、人口の集積がみられず、新沼字刈敷田に人口の集積が比較的高い箇所がみられます。

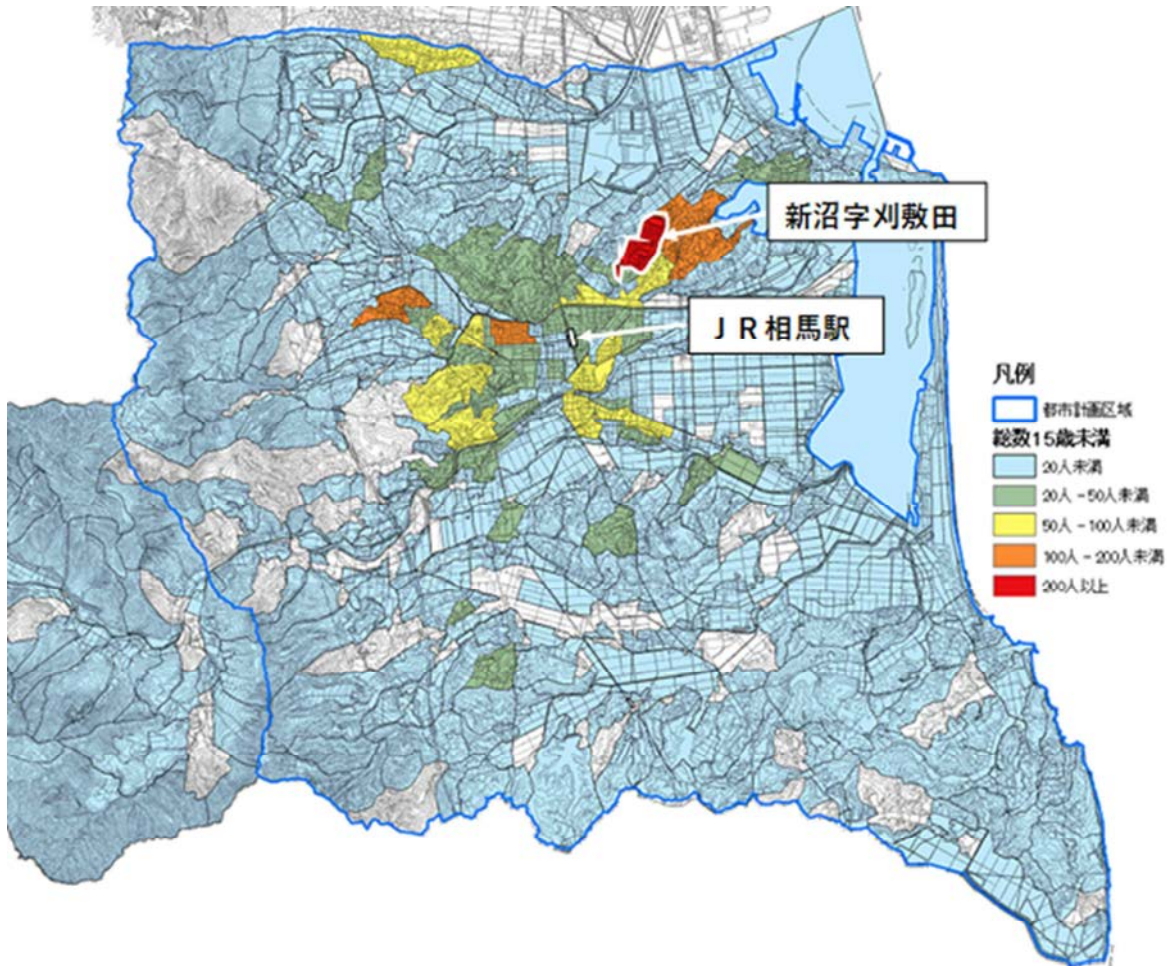


図8 小地域人口（令和2（2020）年年少人口）

③生産年齢人口

生産年齢人口については、J R相馬駅を含む中心市街地に集積しており、新沼字刈敷田、和田字北迫、黒木字迎畑、中村字川沼等で人口の集積が比較的高い箇所がみられます。

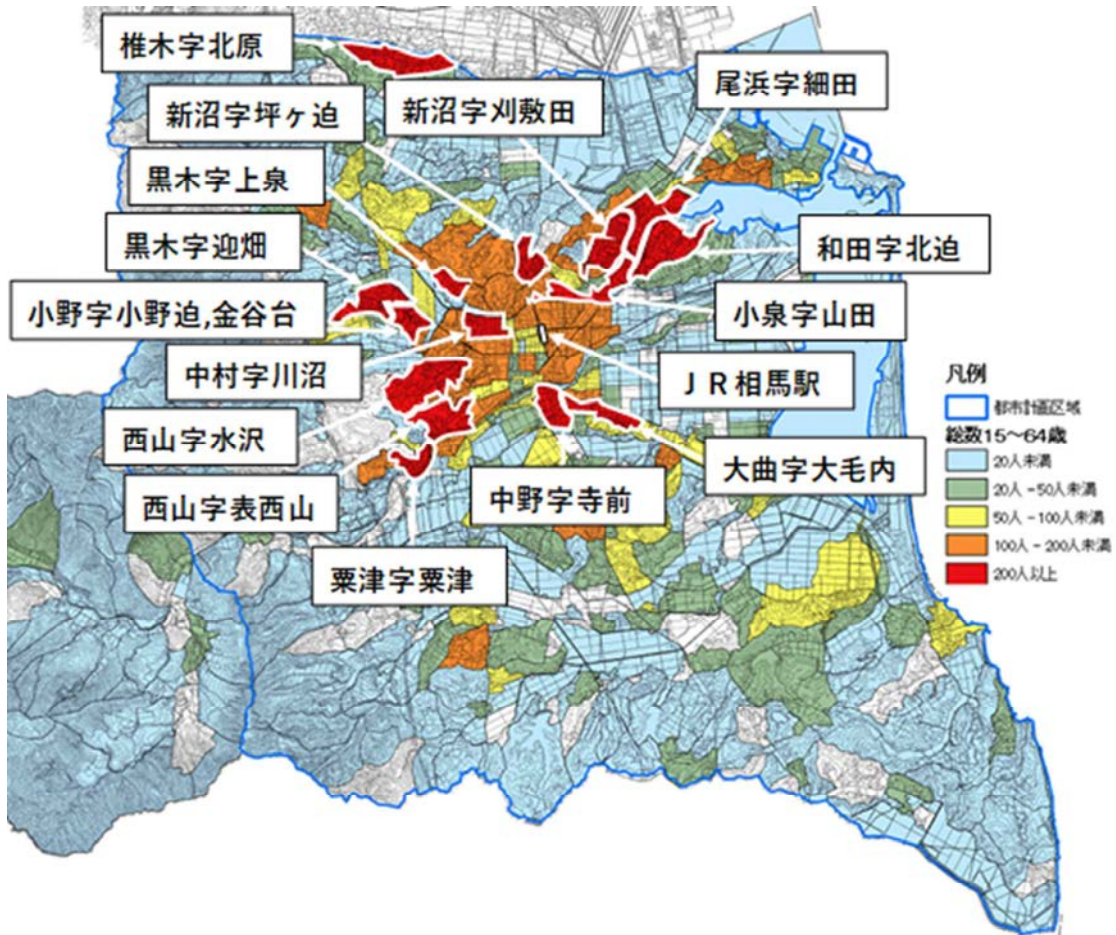


図9 小地域人口（令和2（2020）年生産年齢人口）

④高齢者人口

高齢者人口については、J R相馬駅を含む中心市街地に集積しており、新沼字刈敷田、小泉字高池、中村字川沼に人口の集積が比較的高い箇所がみられます。

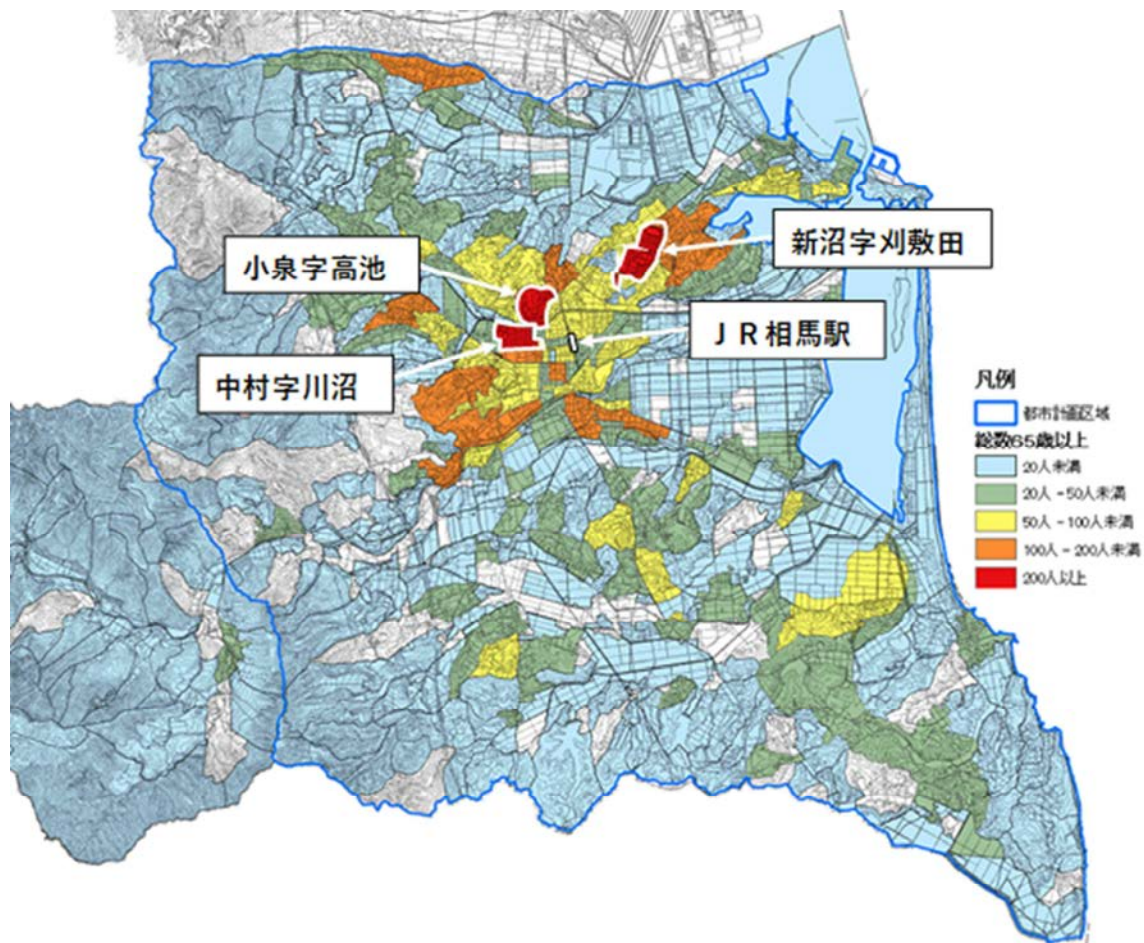


図10 小地域人口（令和2（2020）年高齢者人口）

2. 土地利用・開発動向

(1) 土地利用現況

- ・本市の都市計画区域内の土地利用現況は、農地、山林等の自然的土地利用が区域全体の76.5%、都市的土地利用が23.5%となっています。

表4 土地利用現況（都市計画区域内）

区域区分	総面積	自然的土地利用				
		農地		3.山林	4.水面	5.その他自然 地
		1.田	2.畑			
	ha	ha	ha	ha	ha	ha
都市計画区域	11982	2621.6	732.7	3857.8	649.1	1300.7
(構成比)	100%	22%	6%	32%	5%	11%

都市的土地利用								
宅地			9.農林漁業 施設用地	10.公共用施 設用地	11.道路用地	12.交通施設 用地	13.公共空地	14.その他公 的施設用地
6.住宅用地	7.商業用地	8.工業用地						
ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
741.8	155.7	172.4	12.7	190.3	758.6	67.9	72.3	0
6%	1%	1%	0%	2%	6%	1%	1%	0%

都市的土地利用				19.不明
その他空地				
15.①ゴルフ場等	16.②太陽光整備	17.③平面駐車場	18.④（①～③以外）	
ha	ha	ha	ha	ha
0	181.5	23.6	443.3	0
0%	2%	0%	4%	0%

出典：都市計画基礎調査結果（令和5（2023）年）をもとに集計

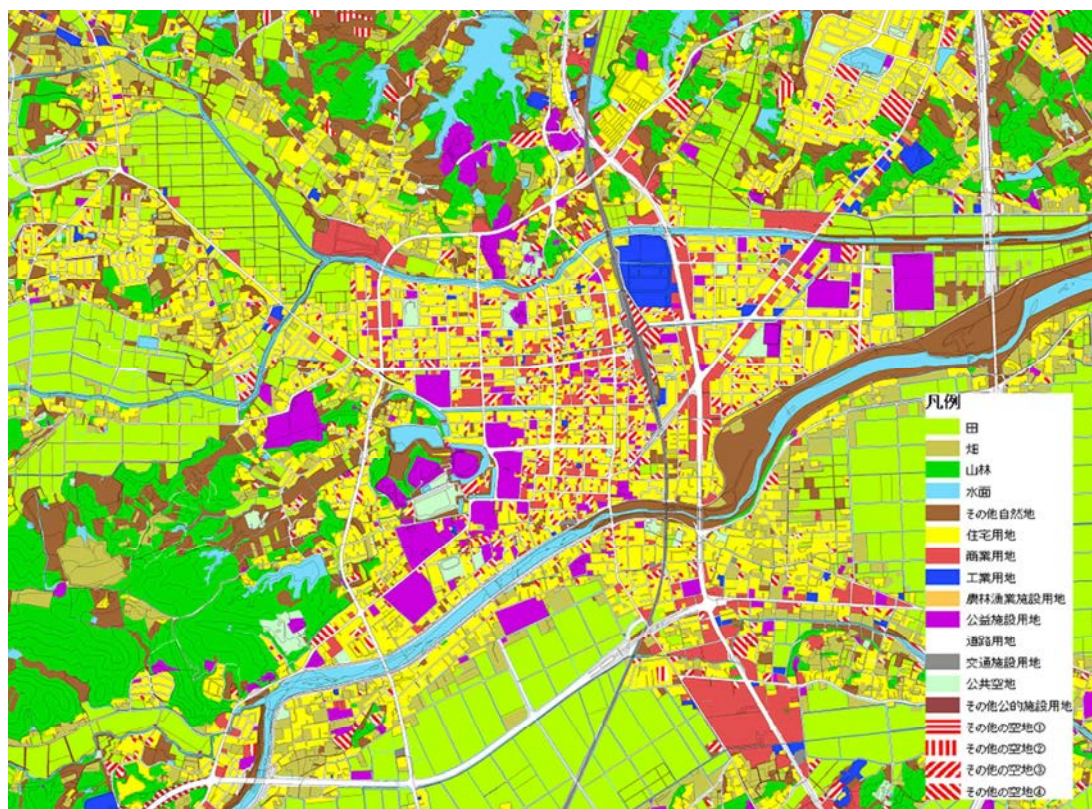


図 11 土地利用現況【相馬駅周辺】

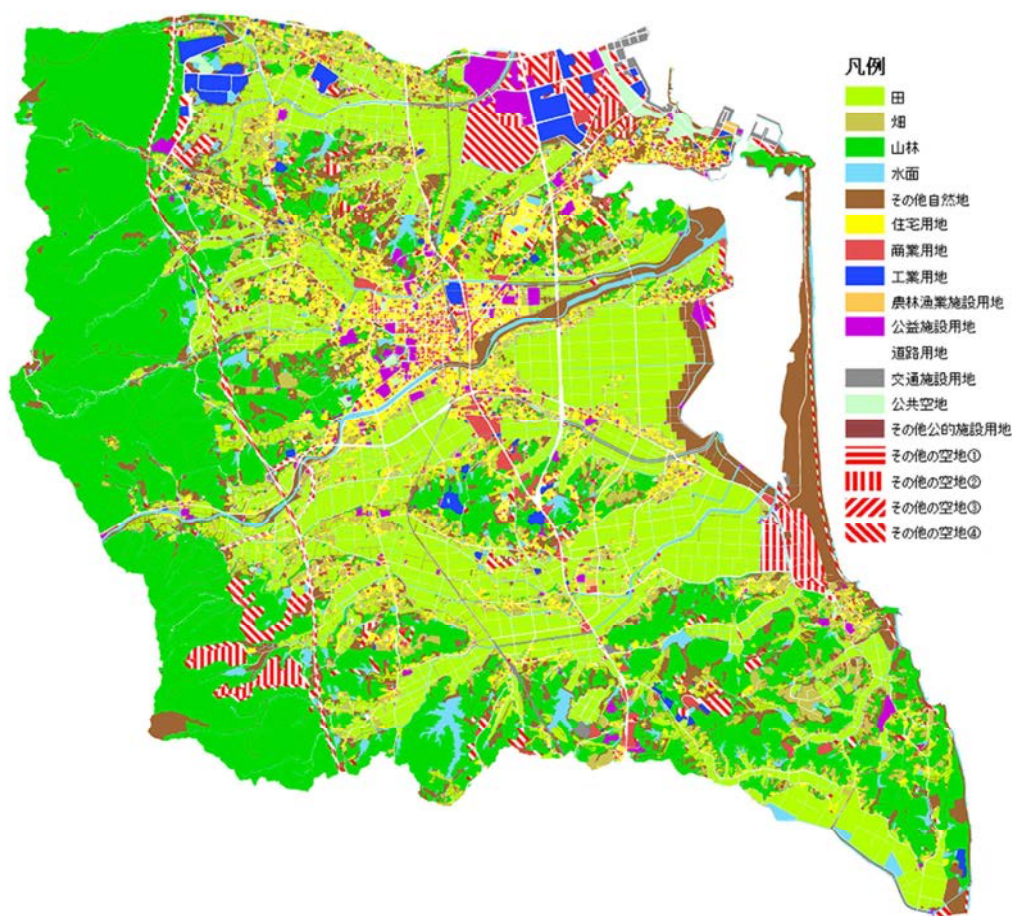


図 12 土地利用現況（都市計画区域）

(2) 都市計画指定

■都市計画区域内には用途地域が定められ、住居系、商業系、工業系の用途地域で構成されています。

・本市の都市計画区域は相馬地方都市計画区域の一部が指定されており、面積は11,982haとなっています。

・都市計画区域は、用途地域と用途地域が定められていない（無指定）地域に分けられます。

・J R相馬駅周辺の中心市街地・刈敷田地区（以下、「用途地域中心地」とする。）および原釜・尾浜地区、相馬中核工業団地（東地区、西地区）に用途地域が指定されており、全体的に住居系が50.0%、商業系が4.6%、工業系が45.4%を占めています。

表5 用途地域の面積、構成比

	種類	面積 (ha)	構成比	
住居系	第一種低層住居専用地域	120.2	9.8%	50.0%
	第一種中高層住居専用地域	163.6	13.4%	
	第二種中高層住居専用地域	21.0	1.7%	
	第一種住居地域	252.7	20.7%	
	第二種住居地域	54.5	4.5%	
商業系	近隣商業地域	28.9	2.4%	4.6%
	商業地域	27.3	2.2%	
工業系	準工業地域	102.5	8.4%	45.4%
	工業地域	183.2	15.0%	
	工業専用地域	269.1	22.0%	
	計	1223.0	100.0%	

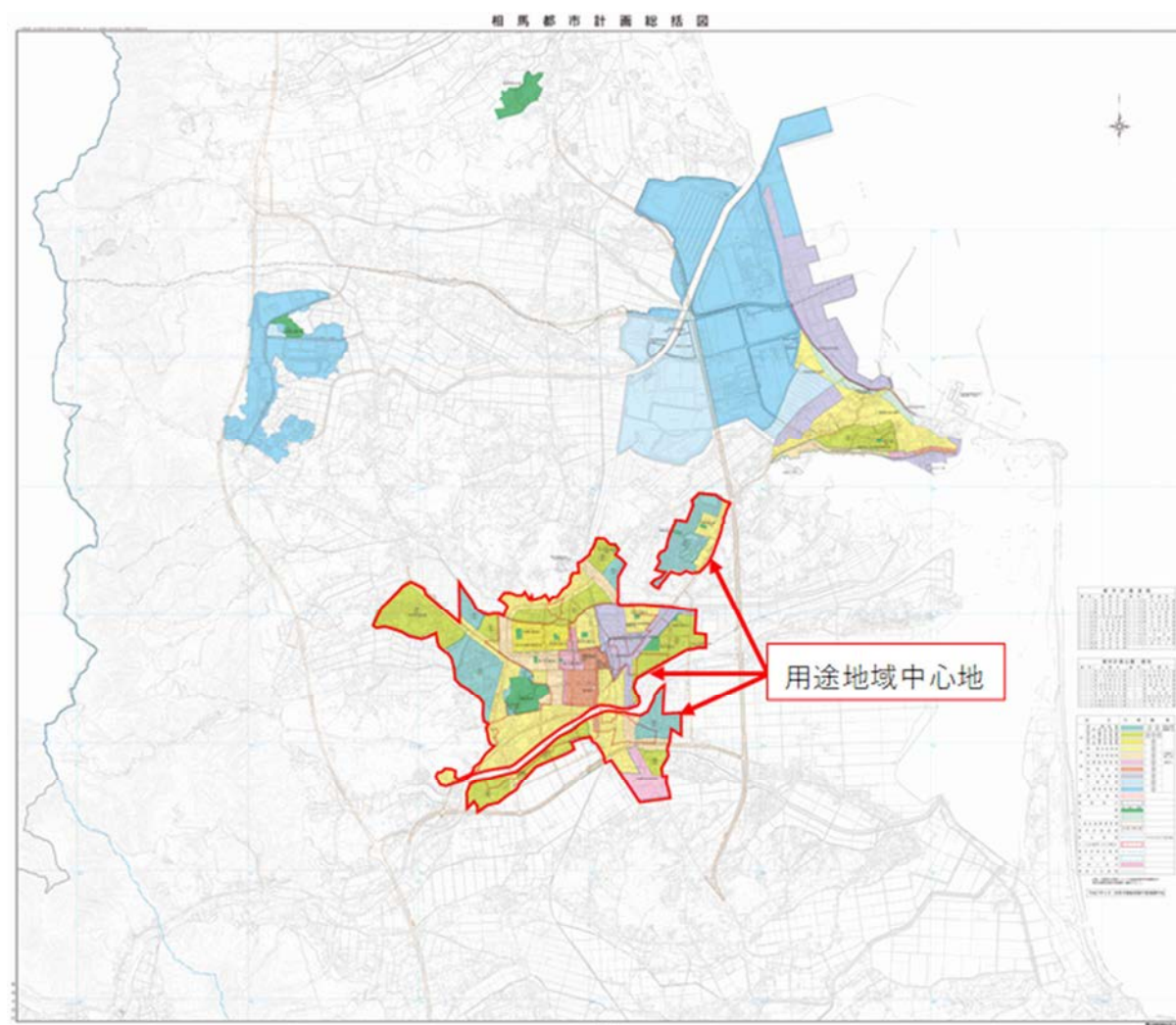


図13 用途地域の指定状況

3. 交通の現状

(1) 道路

■南北方向、東西方向に骨格となる道路網を形成しています。

- ・南北方向に平成27年に全線開通した常磐自動車道、東西方向に常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの高規格道路である東北中央自動車道（相馬福島道路）が通っています。
- ・これらを補完する道路として南北方向に一般国道6号と東西方向に一般国道115号が通っています。

(2) 鉄道

■市内の鉄道利用者は長期的にみて減少傾向にあります。

- ・本市の鉄道は、J R常磐線が市内を南北方向に通っており、2駅（相馬駅、日立木駅）が設置されています。
- ・市内の鉄道利用者数は、コロナ禍から回復傾向にあるものの、長期的にみて減少傾向にあります。J R相馬駅では一日平均の乗車人員が令和5年度で1,082人となっています。

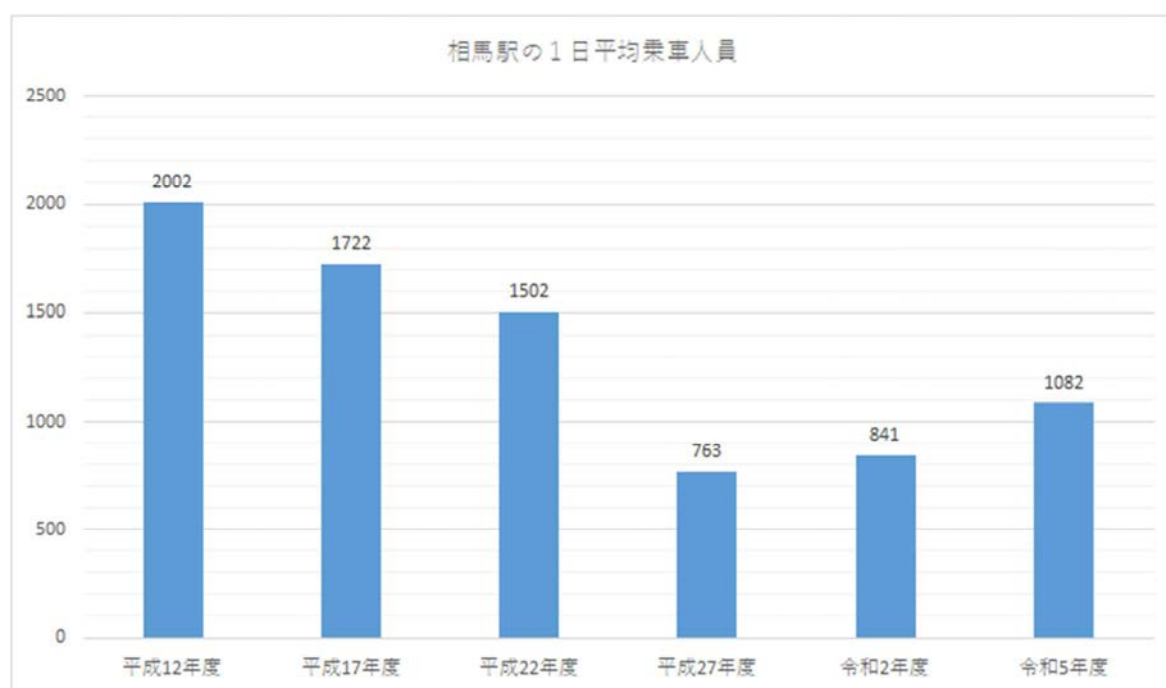
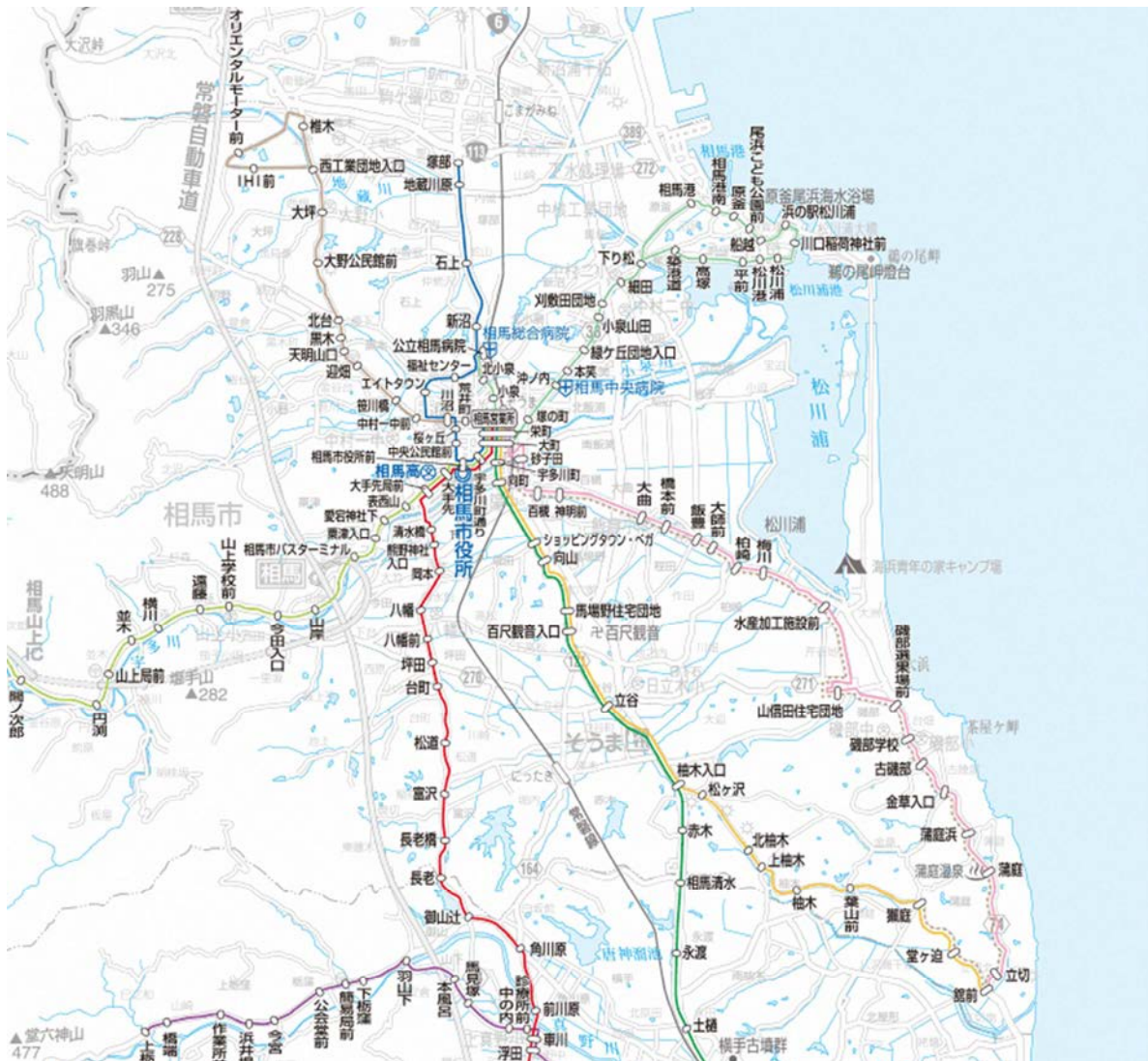


図14 相馬駅の1日平均乗車人員

(3) バス等

■本市のバス等公共交通は、路線バスと「おでかけミニバス」が運行されています。

- ・高齢者等交通弱者の病院への通院や商店への買い物の移動手段を確保するため、福島交通株式会社に委託し、市街地と各地域を結ぶ路線バスを運行しています。
- ・相馬市おでかけ応援事業として、中心市街地での買い物支援を目的とした、交通手段をもたない65歳以上の高齢者が無料で利用できる、各地域と中心市街地を結ぶ巡回車「おでかけミニバス」を運行しています。
- ・相馬市バスターミナルは、高速バスなどの乗降場所や利用者専用駐車場を備えており、仙台・東京方面への高速バスが運行されています。



出典：福島交通（株）HP より

図15 バス路線の状況

4. 都市機能の現状

コンパクトシティの実現に向けては、人口減少社会においても、市民生活、都市活動等の持続性が確保される都市構造を目指していくことが重要です。

本市の都市機能施設について、都市機能の現状を把握するため、立地状況を整理していきます。

表6 対象とした都市機能施設

分類	該当施設	出典
1.行政施設	市役所、出張所	相馬市公共施設等総合管理計画 iタウンページ
2.介護・福祉施設	介護施設（老人ホーム、訪問介護、デイサービス等）	相馬市介護保険サービス事業所一覧
	障がい者施設（障がい者支援施設、共同作業所等）	相馬市指定障がい福祉サービス事業所一覧
3.子育て支援施設	保育園	相馬市公共施設等総合管理計画 教育要覧「相馬市の教育」 iタウンページ
	地域子育て支援拠点	
	児童館	
	地域創生拠点施設	
	地域世代間コミュニティ交流施設	
4.商業施設	スーパーマーケット	iタウンページ
	ホームセンター	
	コンビニエンスストア	
	ドラッグストア・薬局	
	家庭電化製品専門店	
	直売所 等	
5.医療施設	病院	一般社団法人相馬郡医師会HP
	診療所	相馬歯科医師会HP
6.金融施設	銀行	JAバンクHP 日本郵政HP iタウンページ
	信用組合	
	共同組織金融機関（信用金庫、漁業協同組合、労働金庫、農業協同組合）	
	郵便局	
7.文化施設	集会・地域活動施設（公民館等）	教育要覧「相馬市の教育」 相馬市公共施設等総合管理計画
	生涯学習施設	
	歴史博物館	
	スポーツ施設（体育館等）	
8.教育施設	幼稚園	教育要覧「相馬市の教育」
	学校（小学校、中学校、高等学校、専門学校）	

(1) 行政施設

行政施設は用途地域中心地に市役所が立地し、周辺地域に出張所が立地しています。

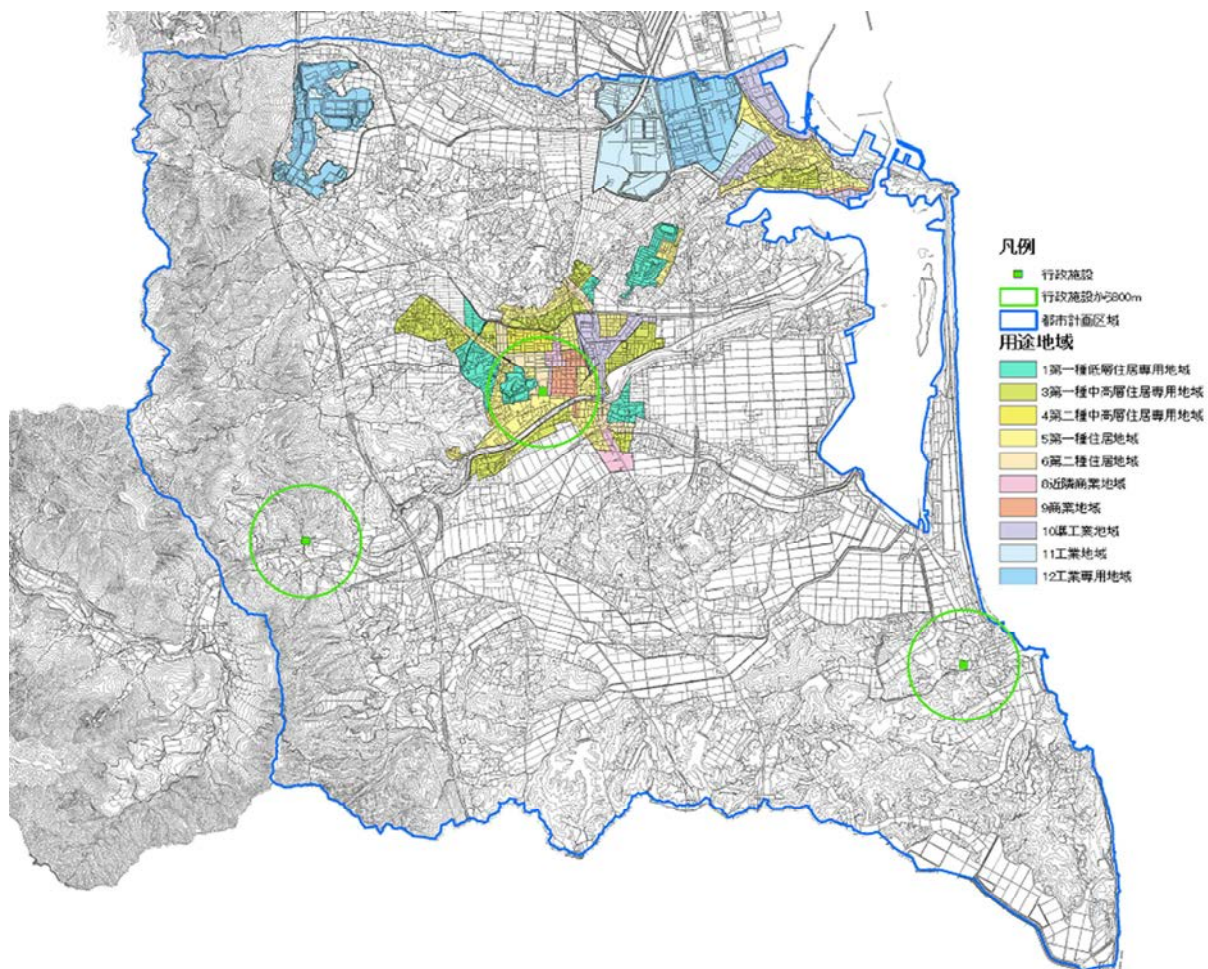


図16 行政施設の分布状況

表7 行政施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	行政機関	市区町村機関	相馬市役所	相馬市中村字北町6 3 番地の3
2	行政機関	市区町村機関	磯部出張所	相馬市磯部字狐穴6 4 7 番地の4
3	行政機関	市区町村機関	山上出張所	相馬市山上字上ノ台1 番地の1

※相馬市公共施設等総合管理計画、iタウンページより作成

(2) 介護・福祉施設

介護・福祉施設は、老人保健施設やデイサービス等が用途地域中心地に集中して立地し、その徒歩圏(800m)(※)は用途地域中心地をカバーしていますが、原釜・尾浜地区はカバーできていない状況です。

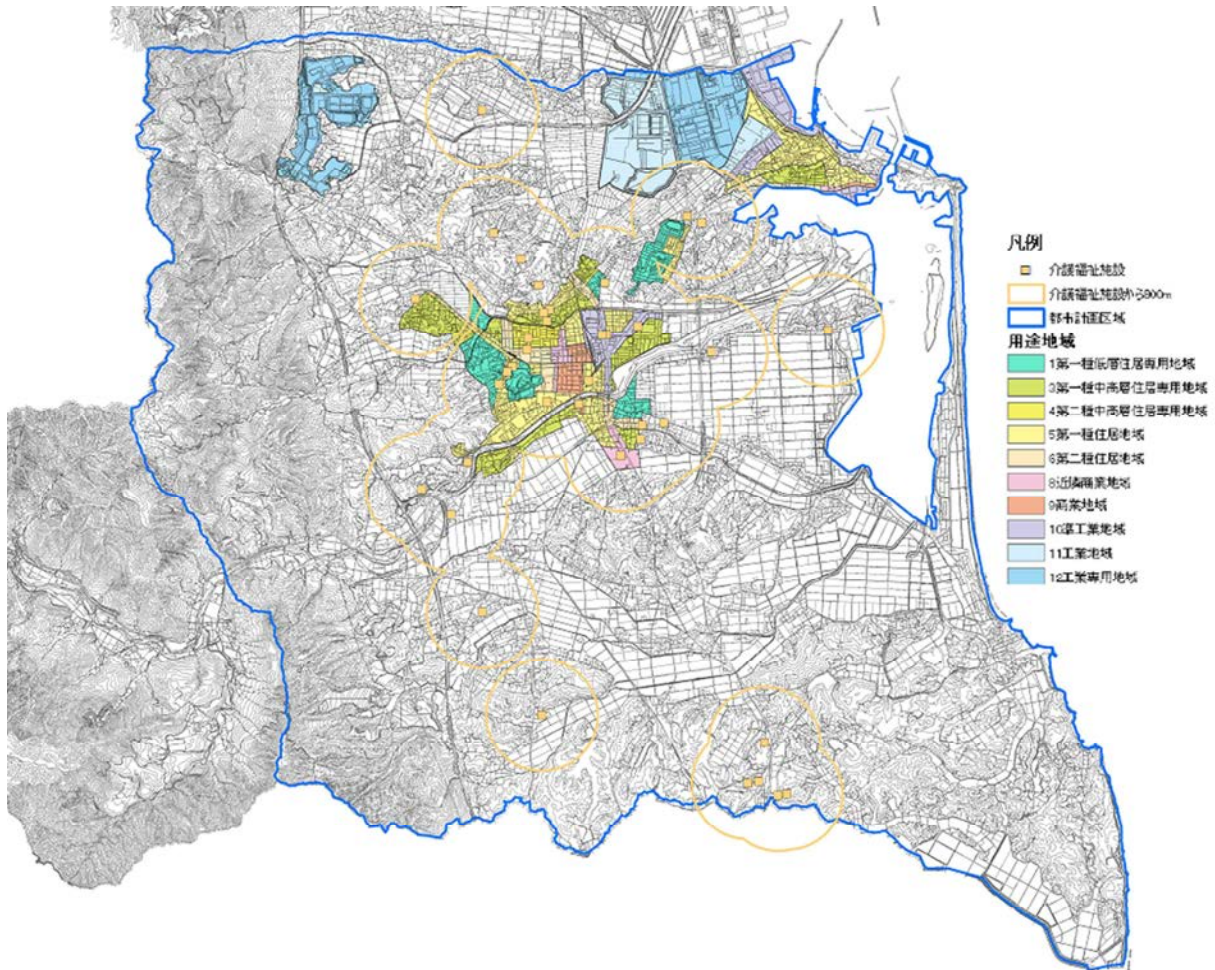


図17 介護・福祉施設の分布状況

(※) …徒歩圏は、「都市構造の評価に関するハンドブック(平成26年8月)」より、一般的な徒歩圏である半径800mとする。以下、徒歩圏は800mとする。

第2章 立地適正化計画策定の目的と背景

表8 介護・福祉施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	介護・福祉施設	介護施設	特別養護老人ホーム相馬ホーム	相馬市小泉字高池 7 1 8
2	介護・福祉施設	介護施設	相馬市地域包括支援センター	相馬市小泉字高池 3 5 7
3	介護・福祉施設	介護施設	ショートステイまごころ	相馬市石上南蛭沢 4 0 5 - 1
4	介護・福祉施設	介護施設	デイサービス友遊	相馬市南飯淵字木関無 9 3
5	介護・福祉施設	介護施設	デイサービス友遊 2	相馬市中村字北町 1 - 8
6	介護・福祉施設	介護施設	自立支援・リハビリ重視型デイサービスさんぽ	相馬市中村字砂子田 8
7	介護・福祉施設	介護施設	デイサービスセンターあじさい	相馬市沖ノ内 3 丁目 7 - 6
8	介護・福祉施設	介護施設	リハブライド相馬	相馬市沖ノ内 1 丁目 1 8 - 1
9	介護・福祉施設	介護施設	相馬市デイサービスセンター	相馬市小泉字高池 3 5 7
10	介護・福祉施設	介護施設	相馬福祉会デイサービスセンター	相馬市小泉字高池 7 1 8
11	介護・福祉施設	介護施設	ツクイ相馬馬場野	相馬市馬場野字雨田 4 - 1
12	介護・福祉施設	介護施設	認知症高齢者グループホーム森の都	相馬市柚木字大関 6 4 - 1 7
13	介護・福祉施設	介護施設	けあビジョンホーム相馬	相馬市坪田字御飯御殿前 9 - 1
14	介護・福祉施設	介護施設	グループホームとごころ	相馬市石上南蛭沢 4 0 3 - 1
15	介護・福祉施設	介護施設	そうま・ほっとサロン	相馬市今田字大竹 3 4
16	介護・福祉施設	介護施設	介護老人保健施設ベテランズサークル	相馬市小泉字高池 3 1 9 - 1
17	介護・福祉施設	介護施設	介護老人保健施設森の都	相馬市柚木字大関 7 0 - 1
18	介護・福祉施設	介護施設	ニチイケアセンター宇多の郷	相馬市大曲字大毛内 1 4 6
19	介護・福祉施設	障がい者施設	ミッキーズ・ハウス	相馬市塚部字新城下 1 6 8 - 1
20	介護・福祉施設	障がい者施設	障害者支援施設ふきのとう苑	相馬市富沢字松道 1 9
21	介護・福祉施設	障がい者施設	のびっこらんど／キララ	相馬市赤木字松ヶ沢 1 5 9 - 1
22	介護・福祉施設	障がい者施設	(社会福祉法人相馬市社会福祉協議会) そうま障がい者相談支援センター	相馬市小泉字高池 3 5 7
23	介護・福祉施設	障がい者施設	相談支援事業所陽だまり	相馬市中野字北反町 8 5
24	介護・福祉施設	障がい者施設	共生型福祉施設どんぐり	相馬市北小泉字権現前 5 6 - 1
25	介護・福祉施設	障がい者施設	ひまわりの家	相馬市大曲字大毛内 1 5 0
26	介護・福祉施設	障がい者施設	工房もくもく	相馬市黒木字迎畑 2 3
27	介護・福祉施設	障がい者施設	就労支援事業所スマイルセンター	相馬市小泉字高池 3 4 7 - 1
28	介護・福祉施設	障がい者施設	生活介護事業所スマイルエール	相馬市栗津字長沢 2 4 - 1
29	介護・福祉施設	障がい者施設	のびっこらんど／相馬	相馬市中村字桜ヶ丘 1 9 5
30	介護・福祉施設	障がい者施設	ゆうゆうクラブ	相馬市岩子字明神前 2 5 - 1
31	介護・福祉施設	障がい者施設	ひまわりの家／2	相馬市中村字大手先 3 0 - 1
32	介護・福祉施設	障がい者施設	地域活動支援センターなごみＣＬＵＢ	相馬市沖ノ内 1 丁目 2 - 8
33	介護・福祉施設	障がい者施設	アルファワークス	相馬市尾浜字細田 1 9 0 - 2
34	介護・福祉施設	障がい者施設	相談支援事業所すずらん	相馬市富沢字松道 1 9
35	介護・福祉施設	障がい者施設	空床利用型事業所ショートステイさくら	相馬市赤木字一里壇 2 7 7 - 6
36	介護・福祉施設	障がい者施設	相談支援事業所なごみＣＬＵＢ	相馬市沖ノ内 1 丁目 2 - 8
37	介護・福祉施設	障がい者施設	そうま楽憩園	相馬市赤木字松ヶ沢 1 6 0 - 1
38	介護・福祉施設	障がい者施設	ウィル生活・相談支援センター	相馬市中村字川沼 2 4 0
39	介護・福祉施設	障がい者施設	相談支援事業所スマイルサポート	相馬市小泉字高池 3 4 7 - 1
40	介護・福祉施設	障がい者施設	ひまわりの家 4	相馬市西山字水沢 3 1 6 - 8 7
41	介護・福祉施設	障がい者施設	共生型デイサービスセンターあじさい	相馬市沖ノ内 3 丁目 7 - 6
42	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助グループホームふきのとう	相馬市赤木字一里壇 2 2 7 - 6
43	介護・福祉施設	障がい者施設	グループホームウィル	相馬市中村字川沼 2 4 0
44	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 1	相馬市北小泉字権現前 5 6 - 1
45	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 2	相馬市栗津字栗津 3 - 5 7
46	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 3	相馬市尾浜字細田 3 6 0 - 7
47	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 5	相馬市西山字水沢 2 7 2 - 1 0 6
48	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 6	相馬市馬場野字寺内 1 1 2 - 8
49	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 7	相馬市西山字水沢 2 7 2 - 1 0 6
50	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 9	相馬市北小泉字権現前 5 6 - 1
51	介護・福祉施設	障がい者施設	共同生活援助プチトマト 1 0	相馬市尾浜字細田 3 6 0 - 2

※相馬市介護保険サービス事業所一覧、相馬市指定障がい福祉サービス事業所一覧より作成

(3) 子育て支援施設

子育て支援施設は、保育園や児童館が立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をほぼカバーしていますが、用途地域中心地の中でも年少人口の集積が比較的高い刈敷田地区はカバーできていない状況です。

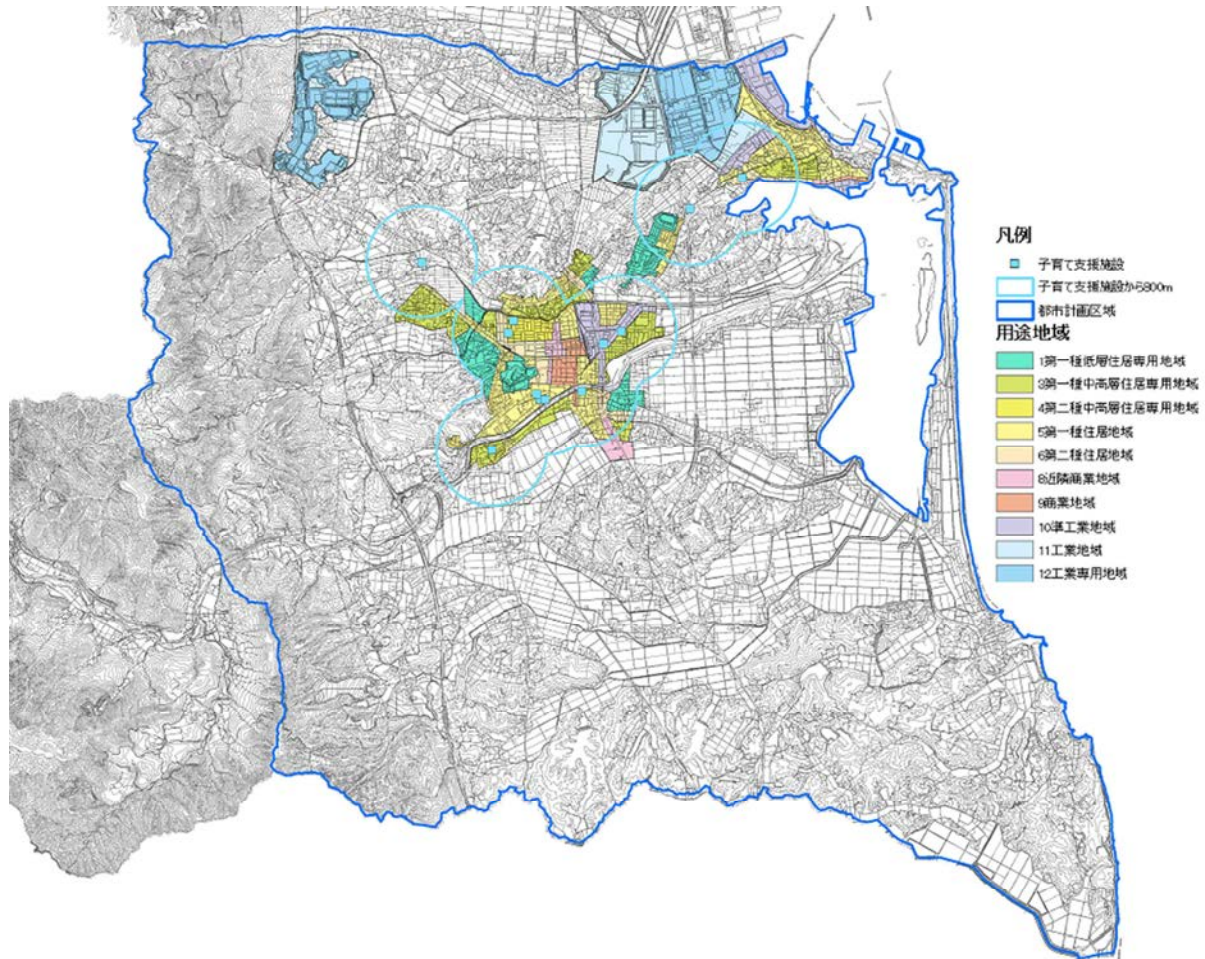


表9 子育て支援施設施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	子育て支援施設	保育園	中村報徳保育園	相馬市中村字川原町50
2	子育て支援施設	保育園	相馬保育園	相馬市中野字寺前37
3	子育て支援施設	保育園	みなと保育園	相馬市尾浜字原189
4	子育て支援施設	保育園	さくらがおか保育園	相馬市中村字川沼298
5	子育て支援施設	保育園	スクルドエンジェル保育園	相馬市塚ノ町二丁目7-1
6	子育て支援施設	保育園	みどり幼稚園	相馬市中村字大手先39
7	子育て支援施設	地域子育て支援拠点	相馬愛育園	相馬市中野字清水 1 7 2 - 2
8	子育て支援施設	児童館	中央児童センター	相馬市中村字川沼 3 1 5
9	子育て支援施設	児童館	川原町児童センター	相馬市中村字川原町 6 5 - 1
10	子育て支援施設	地域創生拠点施設	相馬こどものみんなの家	相馬市北飯沢 1 丁 目 1 5 - 1
11	子育て支援施設	地域世代間コミュニティ交流施設	東部子ども公民館	相馬市尾浜字細田 1 1 7 - 1
12	子育て支援施設	地域世代間コミュニティ交流施設	西部子ども公民館	相馬市黒木字町 6 7 - 1

※相馬市公共施設等総合管理計画、教育要覧「相馬市の教育」、iタウンページより作成

(4) 商業施設

商業施設は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、ドラッグストアが用途地域中心地に概ね立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をカバーしていますが、原釜・尾浜地区はカバーできていない状況です。

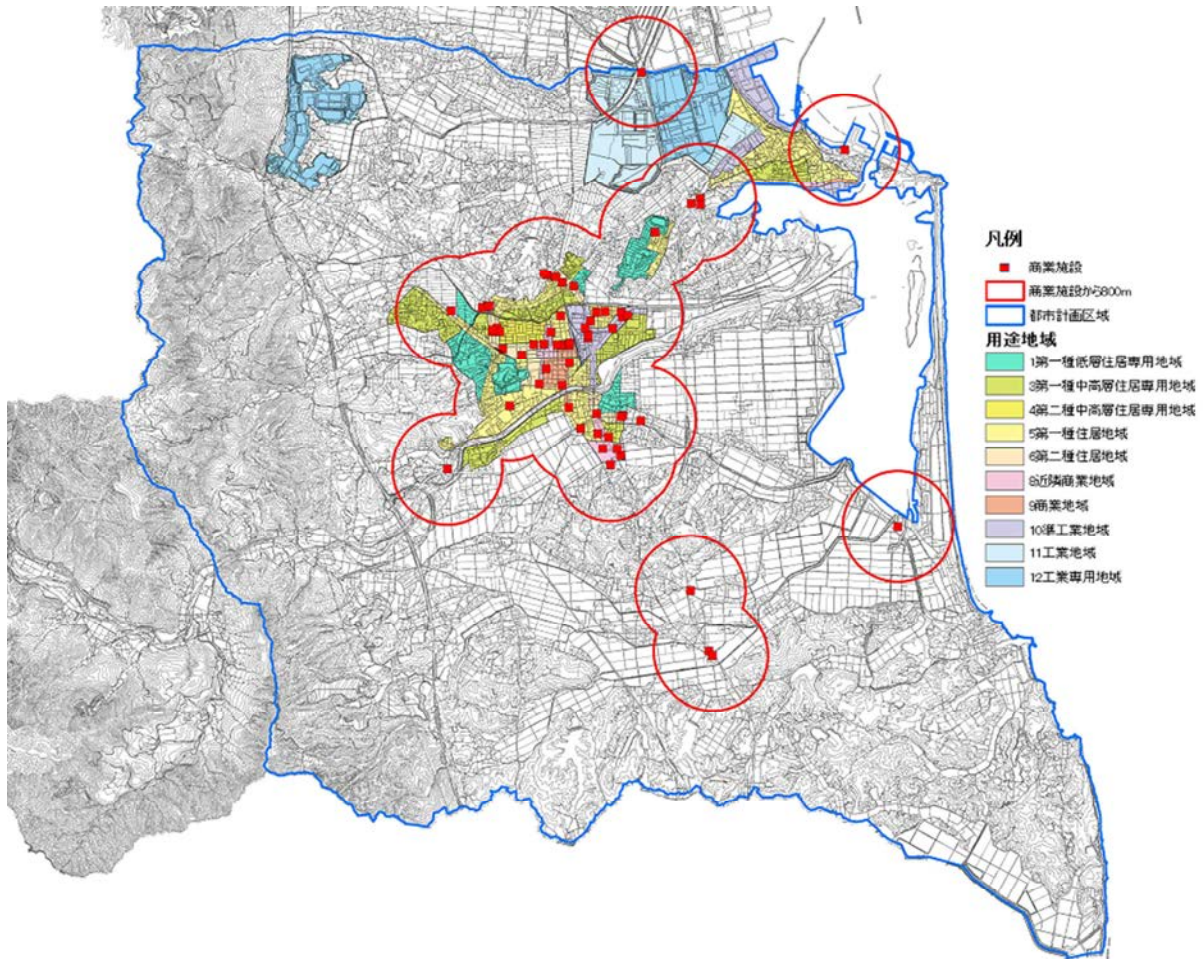


図19 商業施設の分布状況

表10 商業施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	商業施設	スーパーマーケット	株式会社ヨークベニマル相馬店	相馬市中村字桜ヶ丘 1 7 1
2	商業施設	スーパーマーケット	スーパーシンド相馬リボン店	相馬市中村字塚田 9
3	商業施設	スーパーマーケット	株式会社ヨークベニマル相馬黒木店	相馬市黒木字源多田 2 2
4	商業施設	スーパーマーケット	有限会社ファミリーストアおおはし	相馬市沖ノ内 1 丁目 1 2 - 4
5	商業施設	スーパーマーケット	中島ストア	相馬市新沼字刈敷田 2 1 - 9
6	商業施設	スーパーマーケット	フレスコキクチ	相馬市中村字宇多川町 1 7
7	商業施設	ホームセンター	ダイユーエイト相馬店	相馬市黒木字源多田 7
8	商業施設	ホームセンター	コメリハード＆グリーン相馬店	相馬市馬場野字雨田 7 4
9	商業施設	ホームセンター	カインズ相馬店	相馬市馬場野字雨田 1 3 8
10	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬沖ノ内店	相馬市沖ノ内 3 丁目 5 - 1
11	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬小泉店	相馬市小泉字根岸 7 4 - 2
12	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬松川浦店	相馬市尾浜字細田 2 0 3
13	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬日立木店	相馬市日下石字金谷 6 3 - 1
14	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬川沼店	相馬市中村字塚田 4 4
15	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬光陽 3 丁目店	相馬市光陽 3 丁目 1 - 1
16	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬中村店	相馬市中村 1 丁目 5 - 2
17	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬大曲店	相馬市大曲字大毛内 8 1
18	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬塚ノ町店	相馬市塚ノ町 1 丁目 1 4 - 5
19	商業施設	コンビニエンスストア	セブン・イレブン相馬黒木店	相馬市黒木字勝善 1 0 0 - 1
20	商業施設	コンビニエンスストア	ローソン相馬日下石店	相馬市日下石字一北田 2 9 6 - 1
21	商業施設	コンビニエンスストア	ローソン相馬松川浦店	相馬市尾浜字細田 2 3 2
22	商業施設	コンビニエンスストア	ローソン相馬粟津店	相馬市粟津字粟津 2 4 - 1
23	商業施設	コンビニエンスストア	ローソン相馬駅前店	相馬市中村 1 丁目 7 - 2
24	商業施設	コンビニエンスストア	ローソン相馬中村北町店	相馬市中村字北町 7 8 - 2
25	商業施設	コンビニエンスストア	ローソン相馬大曲店	相馬市大曲字大毛内 2 6 - 2
26	商業施設	コンビニエンスストア	ファミリーマート相馬大曲店	相馬市大曲字大毛内 2 4 7
27	商業施設	コンビニエンスストア	ファミリーマート相馬沖ノ内店	相馬市沖ノ内 3 丁目 1 0 - 1
28	商業施設	コンビニエンスストア	ミニストップ相馬沖ノ内店	相馬市沖ノ内 1 丁目 1 5 - 7
29	商業施設	コンビニエンスストア	ヤマザキショップ斎藤商店	相馬市中野字寺前 2 0 - 1
30	商業施設	ドラッグストア	カワチ薬局相馬店	相馬市中野字寺前 3 7 7 - 1
31	商業施設	ドラッグストア	ドラッグストアマツモトキヨシエイトタウン相馬店	相馬市黒木字源多田 4 4
32	商業施設	ドラッグストア	ツルハドラッグ相馬南店	相馬市馬場野字雨田 9 - 1
33	商業施設	ドラッグストア	ツルハドラッグ相馬桜ヶ丘店	相馬市中村字桜ヶ丘 1 3 0
34	商業施設	ドラッグストア	ツルハドラッグ相馬店	相馬市小泉字根岸 9 6
35	商業施設	ドラッグストア	薬王堂相馬沖ノ内店	相馬市沖ノ内 3 丁目 3 - 5
36	商業施設	ドラッグストア	薬王堂相馬松川浦店	相馬市尾浜字細田 2 3 5
37	商業施設	薬局	かくまる薬局	相馬市中村 1 丁目 7 - 1
38	商業施設	薬局	ニコニコ調剤薬局	相馬市沖ノ内 3 丁目 6 - 1 5
39	商業施設	薬局	桜薬局	相馬市中野字寺前 4 2 6 - 1
40	商業施設	薬局	そうごう薬局相馬店	相馬市大曲字大毛内 7 7 - 5
41	商業施設	薬局	アップル薬局相馬店	相馬市中村字川沼 3 0 8
42	商業施設	薬局	桜井薬局	相馬市中村 2 丁目 6 - 6
43	商業施設	薬局	さくら薬局相馬桜ヶ丘店	相馬市中村字桜ヶ丘 2 1 2 - 1
44	商業施設	薬局	つかのまち調剤薬局	相馬市塚ノ町 1 丁目 1 4 - 7
45	商業施設	薬局	共創未来相馬薬局	相馬市新沼字坪ヶ迫 9 8
46	商業施設	薬局	共創未来相馬塚田薬局	相馬市中村字塚田 5 2 - 1 - 1 F
47	商業施設	薬局	フロンティア薬局相馬店	相馬市石上字南姥沢 6 2 2 - 3
48	商業施設	薬局	泉町薬局	相馬市中村字泉町 1 4 - 4
49	商業施設	薬局	アイン薬局相馬沖ノ内店	相馬市沖ノ内 1 丁目 2 - 5
50	商業施設	薬局	アイン薬局相馬中村店	相馬市中村字荒井町 4 4
51	商業施設	薬局	アイン薬局東相馬店	相馬市沖ノ内 2 丁目 1 6 - 6
52	商業施設	薬局	のぞみ薬局相馬店	相馬市新沼字坪ヶ迫 1 3 5 - 8
53	商業施設	薬局	みどり薬局	相馬市中村字曲田 1 1 4
54	商業施設	薬店	大寺薬店	相馬市中村字大手先 5 6
55	商業施設	薬店	クスリのさとう	相馬市中村字泉町 6 - 4 2
56	商業施設	薬店	クスリの菊地	相馬市中村字田町 1 4
57	商業施設	家庭電化製品専門店	ケーズデンキ相馬店	相馬市馬場野字雨田 1 8 0
58	商業施設	家庭電化製品専門店	ヤマダテックランドNew相馬店	相馬市馬場野字福迫 8 9
59	商業施設	復興市民市場	浜の駅 松川浦	相馬市尾浜字追川 1 9 6
60	商業施設	休憩施設	道の駅そうま	相馬市日下石字金谷 7 7 - 1
61	商業施設	直売所	磯部水産加工施設	相馬市磯部字大迎 1 1 2 6

※iタウンページより作成

(5) 医療施設

医療施設は、公立相馬総合病院や相馬中央病院をはじめ、医院や歯科医院が立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をほぼカバーしています。

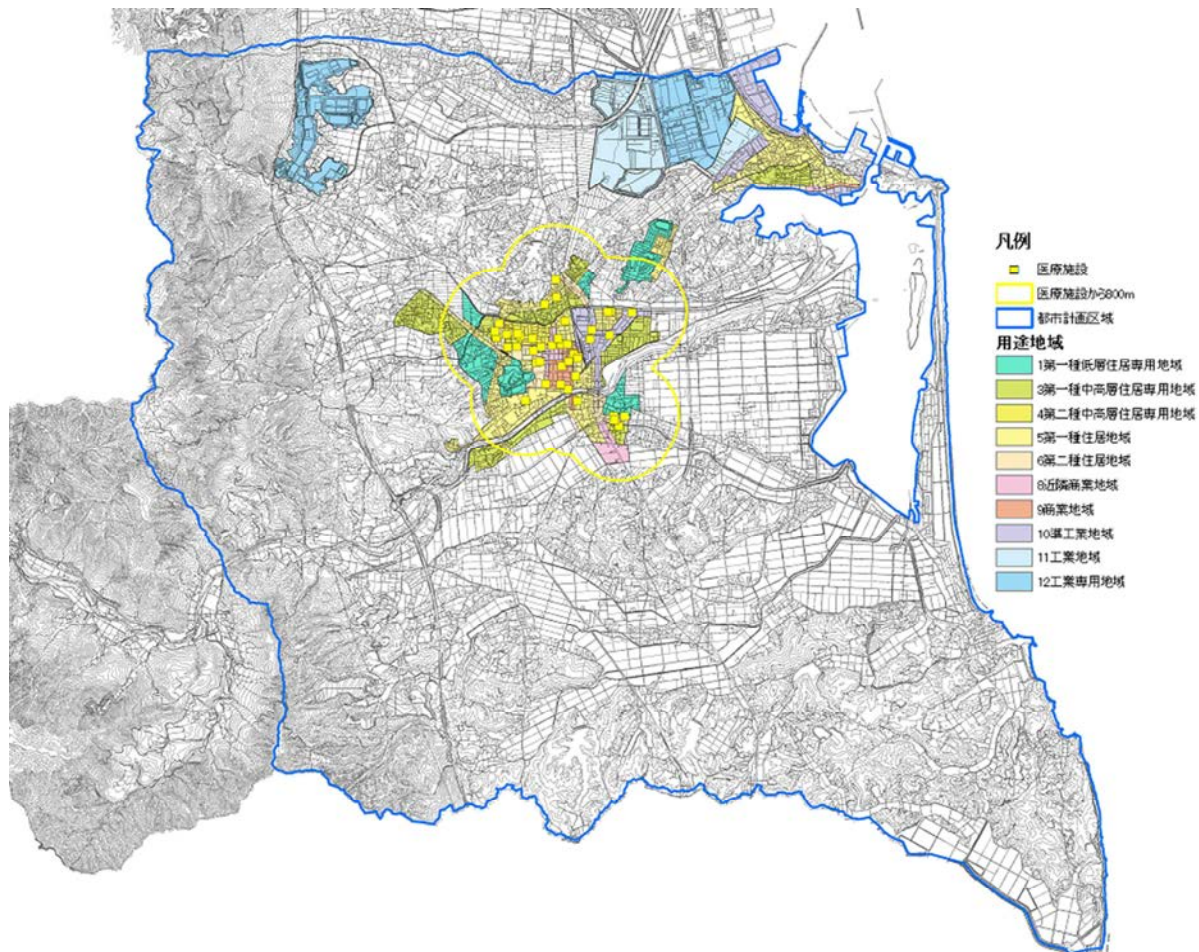


図20 医療施設の分布状況

表 11 医療施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	医療施設	病院	公立相馬総合病院	相馬市新沼字坪ヶ迫 1 4 2
2	医療施設	病院	医療法人相馬中央病院	相馬市沖ノ内3丁目 5 - 1 8
3	医療施設	内科	阿部クリニック	相馬市中村1丁目 1 4 - 2
4	医療施設	内科	大石医院	相馬市中村字大町 4 7
5	医療施設	内科	杉本医院	相馬市小泉字高池 6 4 8 - 5
6	医療施設	内科	羽根田医院	相馬市沖ノ内2丁目 1 1 - 1
7	医療施設	内科	早川医院	相馬市中村字泉町 9 - 1
8	医療施設	内科	ふなばし内科クリニック	相馬市中村字塚田 2 8 - 8
9	医療施設	内科	米村胃腸科内科医院	相馬市中村1丁目 3 - 1 0
10	医療施設	内科	わたなべ胃腸内科	相馬市大曲字大毛内 7 7 - 1
11	医療施設	内科	浜通りふれあい診療所	相馬市沖ノ内1丁目 2 - 1 0
12	医療施設	心療内科	メンタルクリニックなごみ	相馬市中村字川沼 2 4 0
13	医療施設	耳鼻咽喉科	みみ・はな・のど荒川クリニック	相馬市中村字荒井町 3 4
14	医療施設	整形外科	桜ヶ丘さいとう整形外科	相馬市中村字桜ヶ丘 2 0 8
15	医療施設	整形外科	八巻クリニック	相馬市中村1丁目 8 - 9
16	医療施設	産婦人科	あらき産婦人科クリニック	相馬市馬場野字山越 5 5
17	医療施設	小児科	やまぐち小児科医院	相馬市中村1丁目 3 - 2 7
18	医療施設	小児科	すぎやまこどもクリニック	相馬市大曲字大毛内 5 1 - 1
19	医療施設	小児科	菜のはなこどもクリニック	相馬市中村字川沼 3 0 7
20	医療施設	眼科	相双眼科医院	相馬市中村字川沼 2 3 5
21	医療施設	眼科	みずこし眼科クリニック	相馬市中村字宇多川町 1 3 - 8
22	医療施設	皮膚科	ひかりクリニック	相馬市中村字桜ヶ丘 1 5 1
23	医療施設	皮膚科	さいとう皮ふ科医院	相馬市塚ノ町1丁目 1 2 - 3
24	医療施設	歯科	あべ歯科医院	相馬市馬場野字山越 8 3
25	医療施設	歯科	大井歯科医院	相馬市中村字大手先 4 6 - 1
26	医療施設	歯科	梶田歯科医院	相馬市中村2丁目 5 - 6
27	医療施設	歯科	菅野歯科医院	相馬市塚ノ町2丁目 6 - 1 5
28	医療施設	歯科	黒沢歯科医院	相馬市中村字桜ヶ丘 8 6
29	医療施設	歯科	グリーン歯科医院	相馬市小泉字高池 4 3 8 - 1
30	医療施設	歯科	斉藤歯科医院	相馬市中村字錦町 4 - 3
31	医療施設	歯科	佐藤歯科医院	相馬市中村字新町 8 6 - 1
32	医療施設	歯科	篠山歯科医院	相馬市沖ノ内2丁目 1 0 - 1
33	医療施設	歯科	新開歯科医院	相馬市中村字宇多川町 6 1
34	医療施設	歯科	原田歯科医院	相馬市中村字北町 2 6
35	医療施設	歯科	馬陵歯科診療所	相馬市中村字塚田 6 1 - 1
36	医療施設	歯科	ヒロシ歯科クリニック	相馬市中村字塚田 5 0
37	医療施設	歯科	門馬歯科医院	相馬市中村字北町 3 0 - 3
38	医療施設	歯科	八巻歯科医院	相馬市中村1丁目 8 - 1 0
39	医療施設	歯科	山本歯科医院	相馬市中野字寺前 4 5 - 1
40	医療施設	歯科	わたなべ歯科クリニック	相馬市中村字新町 1 7
41	医療施設	歯科	桜ヶ丘デンタルクリニック	相馬市中村字川沼 4 6
42	医療施設	歯科	ちば歯科ファミリークリニック	相馬市中村字桜ヶ丘 1 9 6 - 3

※一般社団法人相馬郡医師会HP、相馬歯科医師会HPより作成

（6）金融施設

金融施設は、銀行、信用組合、信用金庫、労働金庫、農業協同組合、郵便局等が立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域内をほぼカバーしています。

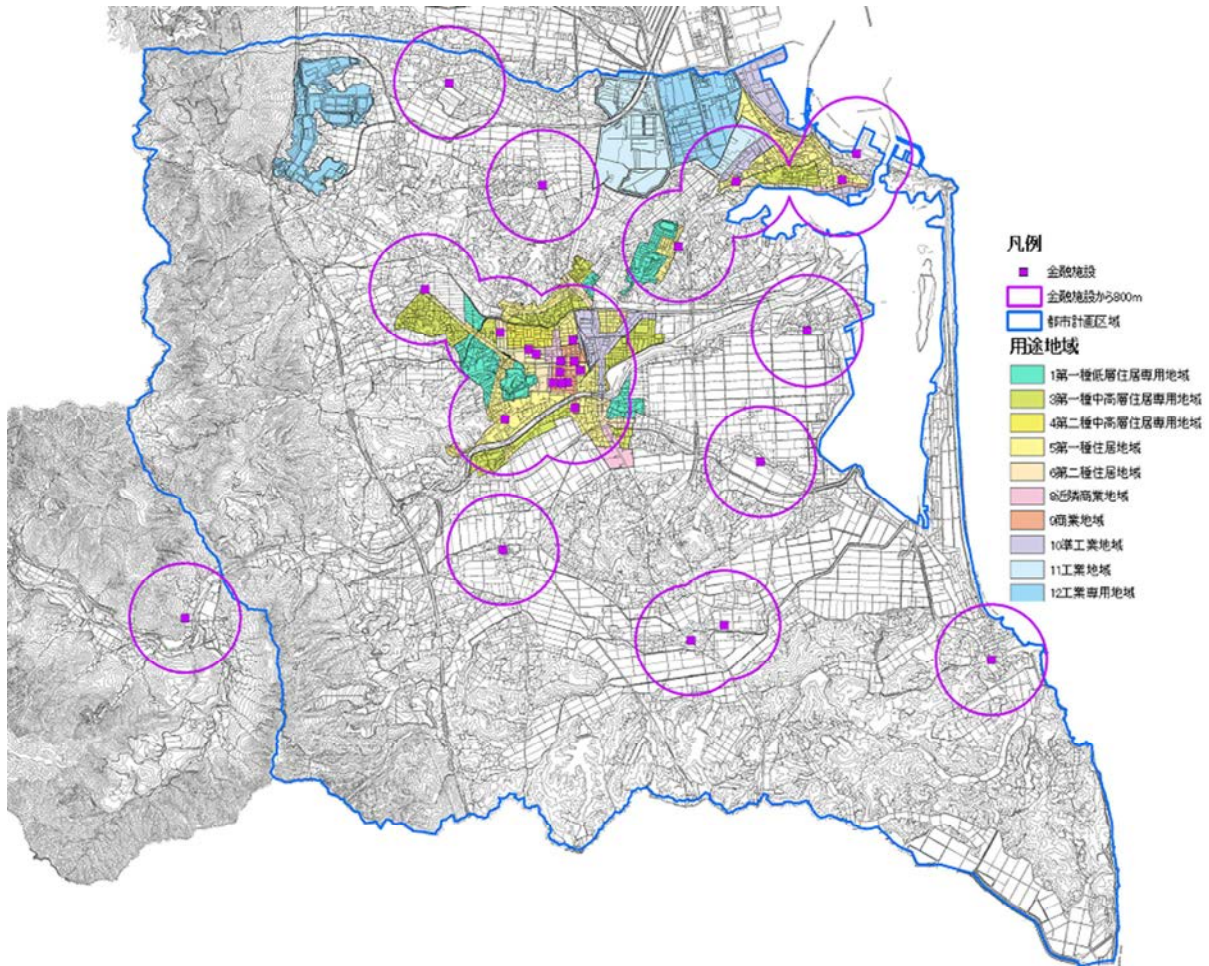


図 21 金融施設の分布状況

表12 金融施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	金融施設	銀行	株式会社福島銀行／相馬支店	相馬市中村字桜ヶ丘 1 5 0 - 1
2	金融施設	銀行	大東銀行相馬支店	相馬市中村字田町 4 5 - 1
3	金融施設	銀行	七十七銀行相馬支店	相馬市中村字大町 7 8 - 1
4	金融施設	銀行	株式会社東邦銀行相馬支店	相馬市中村字大町 5 8 - 1
5	金融施設	信用組合	相双五城信用組合／本店	相馬市中村字大町 6 9
6	金融施設	信用組合	相双五城信用組合／本部	相馬市中村字大町 6 9
7	金融施設	信用組合	相双五城信用組合／相馬港支店	相馬市原釜字金草 7 9 - 1
8	金融施設	信用組合	相双五城信用組合／相馬西支店	相馬市中村字塚田 5 3
9	金融施設	漁業協同組合	相馬双葉漁業協同組合／信用課	相馬市尾浜字追川 1 9 6
10	金融施設	労働金庫	東北労働金庫／相馬支店	相馬市中村字桜ヶ丘 8 5 - 2
11	金融施設	信用金庫	あぶくま信用金庫相馬支店	相馬市中村字錦町 2 - 8
12	金融施設	農業協同組合	ふくしま未来農業協同組合 相馬中村総合支店	相馬市中村 1 丁目 1 5 - 5
13	金融施設	農業協同組合	ふくしま未来農業協同組合 中村みなみ支店	相馬市日下石字諏訪 3 0 - 2
14	金融施設	郵便局	飯豊郵便局	相馬市程田字明神前 2 2 1 - 2
15	金融施設	郵便局	石上簡易郵便局	相馬市石上字蛇山 5 9
16	金融施設	郵便局	磯部簡易郵便局	相馬市磯部字上ノ台 5 1 5 - 1
17	金融施設	郵便局	岩子簡易郵便局	相馬市岩子字明神前 3 2 - 2
18	金融施設	郵便局	黒木郵便局	相馬市黒木字御門 9 8 - 1
19	金融施設	郵便局	椎木簡易郵便局	相馬市塚部字新城下 3 1 - 2
20	金融施設	郵便局	相馬駅前郵便局	相馬市中村 2 丁目 3 - 1 9
21	金融施設	郵便局	相馬大手先郵便局	相馬市中村字大手先 7 8 - 2
22	金融施設	郵便局	相馬刈敷田郵便局	相馬市尾浜字細田157
23	金融施設	郵便局	相馬中野郵便局	相馬市中野字北反町 9 0
24	金融施設	郵便局	相馬郵便局	相馬市中村字曲田 1 2 5
25	金融施設	郵便局	日立木郵便局	相馬市日下石字町場 9 5 - 2
26	金融施設	郵便局	松川港郵便局	相馬市尾浜字牛鼻毛 6 6 - 1
27	金融施設	郵便局	山上郵便局	相馬市山上字上並木 8 6 - 3
28	金融施設	郵便局	八幡郵便局	相馬市坪田字神路町 1 3

※JAバンクHP、日本郵政HP、iタウンページより作成

(7) 文化施設

文化施設は市民会館、図書館等が用途地域中心地に立地し、公民館、スポーツ施設は各地域に立地しており、その徒歩圏（800m）は用途地域内をカバーしています。

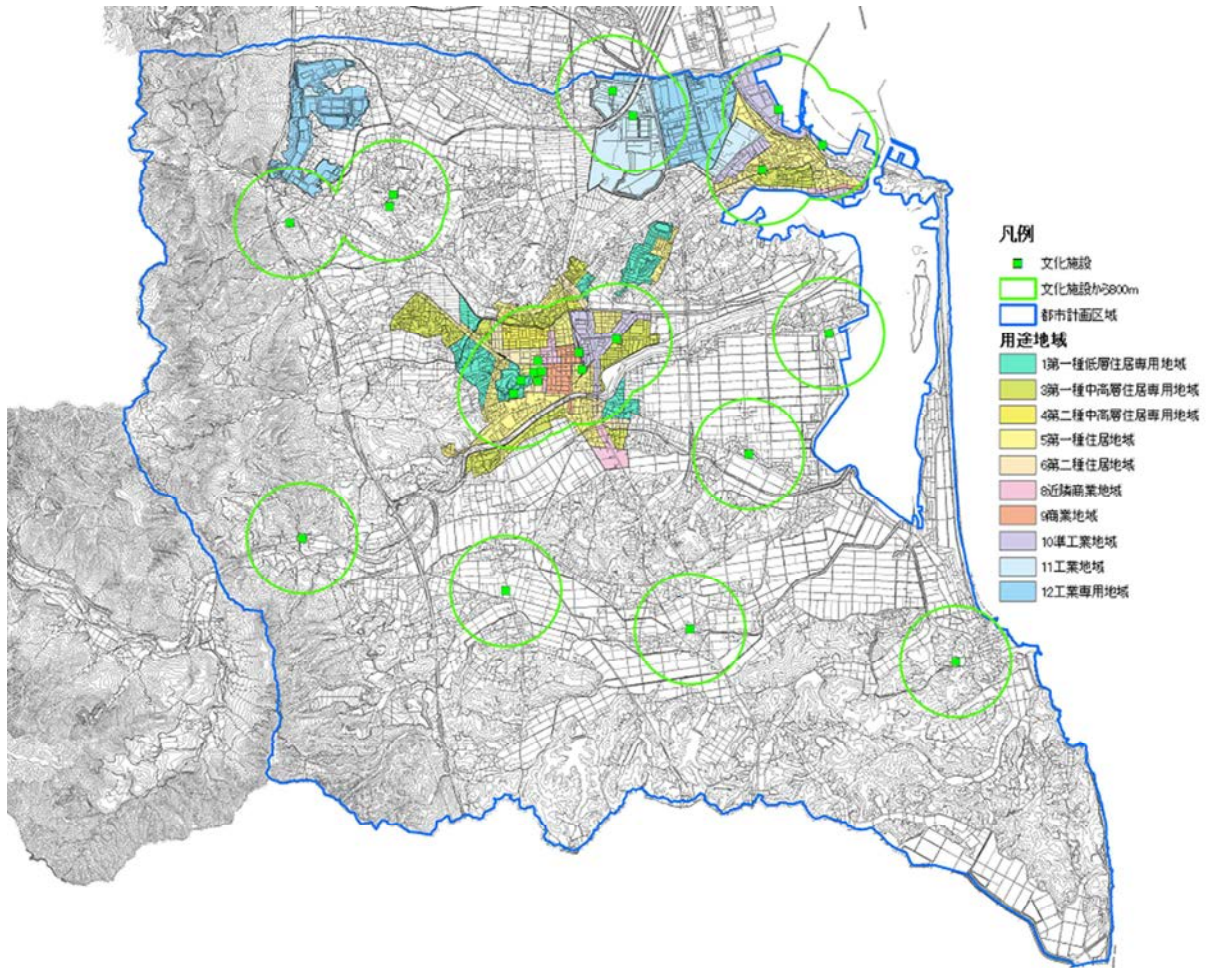


図 22 文化施設の分布状況

表13 文化施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	文化施設	市民会館	相馬市市民会館	相馬市中村字北町51-1
2	文化施設	図書館	相馬市図書館	相馬市中村字塚ノ町65-16
3	文化施設	公民館	中央公民館	相馬市中村字北町55-1
4	文化施設	公民館	東部公民館	相馬市原釜字北高野56
5	文化施設	公民館	大野公民館	相馬市石上字みさご沢326-1
6	文化施設	公民館	飯豊公民館	相馬市程田字明神前142-4
7	文化施設	公民館	八幡公民館	相馬市坪田字北田68
8	文化施設	公民館	日立木公民館	相馬市日下石字高根沢31
9	文化施設	公民館	磯部コミュニティセンター(磯部公民館)	相馬市磯部字狐穴647-4
10	文化施設	公民館	山上公民館	相馬市山上字上ノ台1-1
11	文化施設	生涯学習施設	LVMH子どもアート・メゾン	相馬市中村二丁目2-15
12	文化施設	歴史博物館	相馬市歴史資料収蔵館	相馬市中村字北町51-1
13	文化施設	スポーツ施設	相馬市民プール	相馬市中村字桜ヶ丘54番地の2
14	文化施設	スポーツ施設	相馬光陽サッカー場	相馬市光陽3丁目3-1
15	文化施設	スポーツ施設	相馬光陽ソフトボール場	相馬市光陽4丁目2-5
16	文化施設	スポーツ施設	相馬光陽パークゴルフ場	相馬市光陽4丁目2-5
17	文化施設	スポーツ施設	松川浦スポーツセンター	相馬市岩子字長谷地10-1
18	文化施設	スポーツ施設	スポーツアリーナそうま	相馬市中村字北町55-1
19	文化施設	スポーツ施設	相馬こどもドーム	相馬市光陽4丁目2-5
20	文化施設	スポーツ施設	黒木多目的広場	相馬市黒木字芹谷地46-2
21	文化施設	スポーツ施設	長友グラウンド	相馬市中村字北町94-2
22	文化施設	スポーツ施設	二の丸球場	相馬市中村字北町96-1
23	文化施設	スポーツ施設	角田公園テニスコート	相馬市北飯渕一丁目15-1
24	文化施設	スポーツ施設	福島県相馬港庭球場	相馬市原釜字大津267
25	文化施設	スポーツ施設	相馬市初野射撃場	相馬市初野字栗原287
26	文化施設	スポーツ施設	尾浜ビーチバレーボール場	相馬市尾浜字須賀畑123

※教育要覧「相馬市の教育」、相馬市公共施設等総合管理計画より作成

(8) 教育施設

教育施設は幼稚園、小中学校が各地域に立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域内をカバーしています。

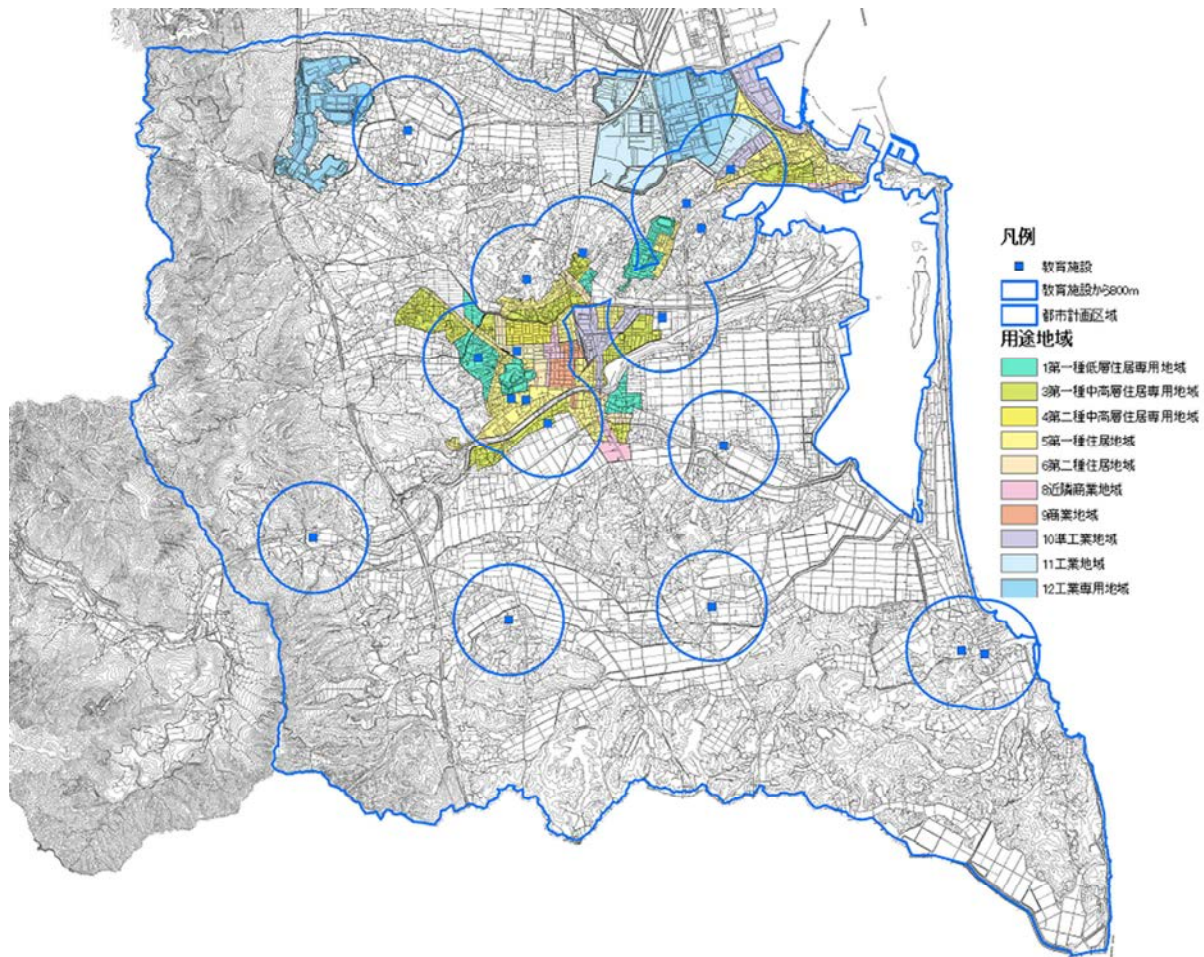


図 23 教育施設の分布状況

表14 教育施設の分布状況

	大分類	中分類	名称	住所
1	教育施設	幼稚園	大野幼稚園	相馬市大坪字東畑7
2	教育施設	幼稚園	山上幼稚園	相馬市山上字柳下32-2
3	教育施設	幼稚園	八幡幼稚園	相馬市坪田字清水前9-3
4	教育施設	幼稚園	飯豊幼稚園	相馬市大曲字天神前42
5	教育施設	幼稚園	磯部幼稚園	相馬市磯部字上ノ台467-2
6	教育施設	幼稚園	日立木幼稚園	相馬市日下石字神明前14
7	教育施設	幼稚園	中村幼稚園	相馬市新沼字坪ヶ迫506-2
8	教育施設	幼稚園	原釜幼稚園	相馬市原釜字金草7-8
9	教育施設	小学校	大野小学校	相馬市大坪字東畑7
10	教育施設	小学校	山上小学校	相馬市山上字柳下32-2
11	教育施設	小学校	八幡小学校	相馬市坪田字清水前9-3
12	教育施設	小学校	中村第一小学校	相馬市中村字大手先1
13	教育施設	小学校	中村第二小学校	相馬市尾浜字細田1
14	教育施設	小学校	桜丘小学校	相馬市中村字桜ヶ丘179
15	教育施設	小学校	飯豊小学校	相馬市大曲字天神前42
16	教育施設	小学校	磯部小学校	相馬市磯部字上ノ台467-2
17	教育施設	小学校	日立木小学校	相馬市日下石字神明前14
18	教育施設	中学校	中村第一中学校	相馬市中村字本町132-1
19	教育施設	中学校	中村第二中学校	相馬市和田字北迫185-13
20	教育施設	中学校	向陽中学校	相馬市中野字桜町76
21	教育施設	中学校	磯部中学校	相馬市磯部字狐穴647
22	教育施設	高等学校	相馬高等学校	相馬市中村字大手先57-1
23	教育施設	高等学校	相馬総合高等学校	相馬市北飯渕字阿弥陀堂200
24	教育施設	専門学校	相馬看護専門学校	相馬市石上字南蛇沢344

※教育要覧「相馬市の教育」より作成

(9) 空き家

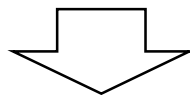
総務省統計局の令和5年住宅・土地統計調査（令和6年9月25日公表）によると、相馬市の総住宅数は13,090戸、このうち空き家は3,040戸であり、総住宅数に占める空家の割合は23.22%となっています。また、「賃貸用又は売却用の住宅」及び「二次的住宅」を除く空き家は1,490戸であり、これは総住宅数に占める割合の11.38%となっています。国勢調査によると、今後の世帯数の減少や高齢化の進行が見込まれることから、空き家の増加が推測されています。

令和6年度に、市内全域の空家の実態（戸数、状態等）及びその分布状況を把握するために、空家実態調査を行いました。調査する「空家」は、空家等対策特別措置法に基づく「空家等」で、「建築物又はこれに附属する工作物であって居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地」を対象としています。調査では、水道の開栓・閉栓データをもとに、1年以上使用実績のない世帯を抽出し、現地調査を行いました。

空家（候補）は、各地域で確認できますが、特に市街地に多く確認できる状況となっています。

(10) 分布状況のまとめ

- 行政施設は用途地域中心地に市役所が立地し、周辺地域に出張所が立地
- 介護・福祉施設は、老人保健施設やデイサービス等が用途地域中心地に集中して立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をカバーするも、原釜・尾浜地区はカバーできていない状況
- 子育て支援施設は、保育園や児童館が立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をカバーするも、刈敷田地区はカバーできていない状況
- 商業施設は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、ドラッグストアが用途地域の中心地に概ね立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をカバーするも、原釜・尾浜地区はカバーできていない状況
- 医療施設は、公立相馬総合病院や相馬中央病院をはじめ、医院や歯科医院が立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域中心地をほぼカバー
- 金融施設は、銀行、信用組合、信用金庫、労働金庫、農業協同組合、郵便局等が立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域内をほぼカバー
- 文化施設は公民館、スポーツ施設が各地域に立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域内をカバー
- 教育施設は小中学校、幼稚園が各地域に立地し、その徒歩圏（800m）は用途地域内をカバー



○分布状況まとめ

- 用途地域内の都市機能施設のうち、介護・福祉施設、商業施設、医療施設、金融施設、文化施設、教育施設は用途地域中心地をカバーしています。
- 子育て支援施設については、用途地域中心地をカバーしています。なお、カバー率は不足しているものの、市内全体で利用ニーズはカバーされています。
- 各地域の中心集落においても、各都市機能施設の分布がみられます。

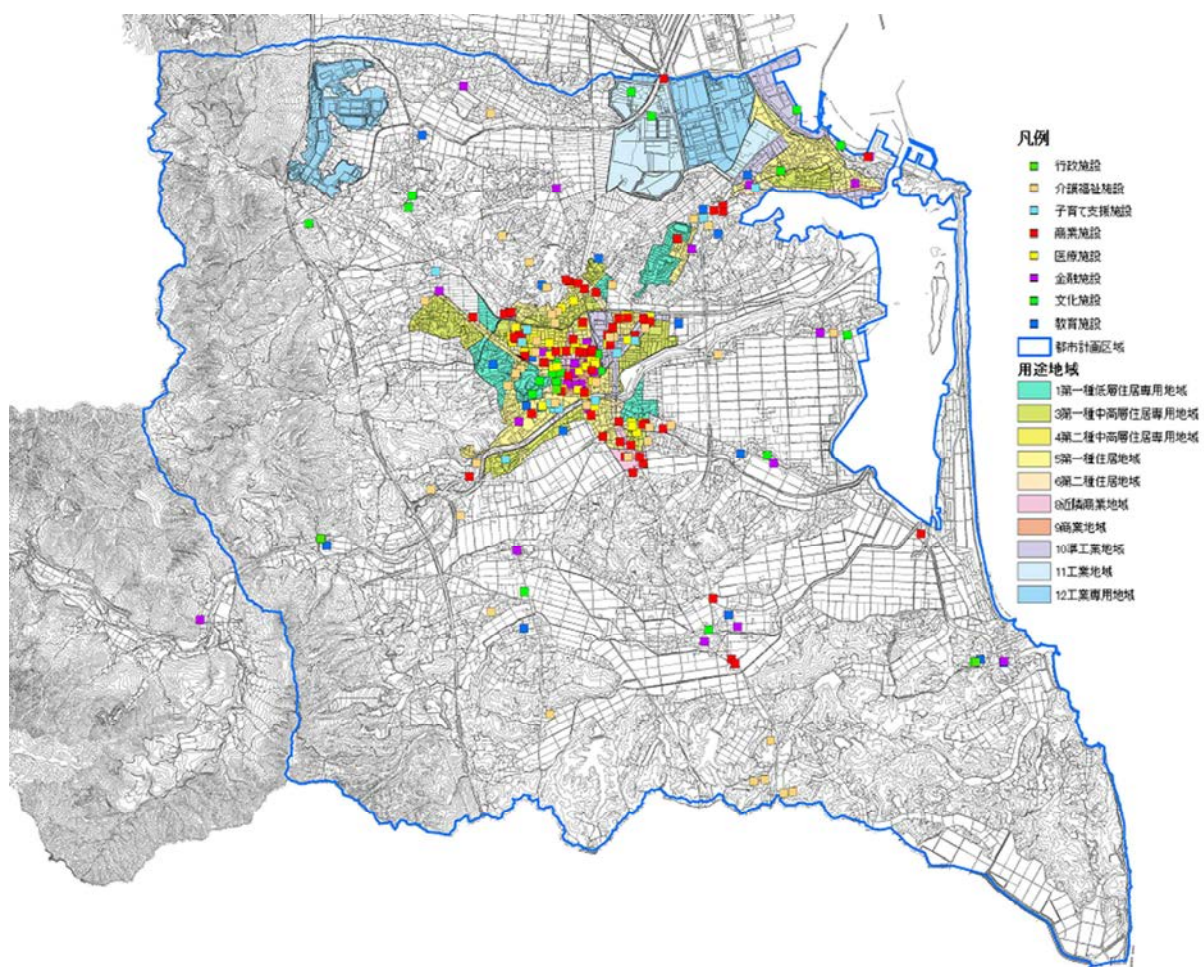
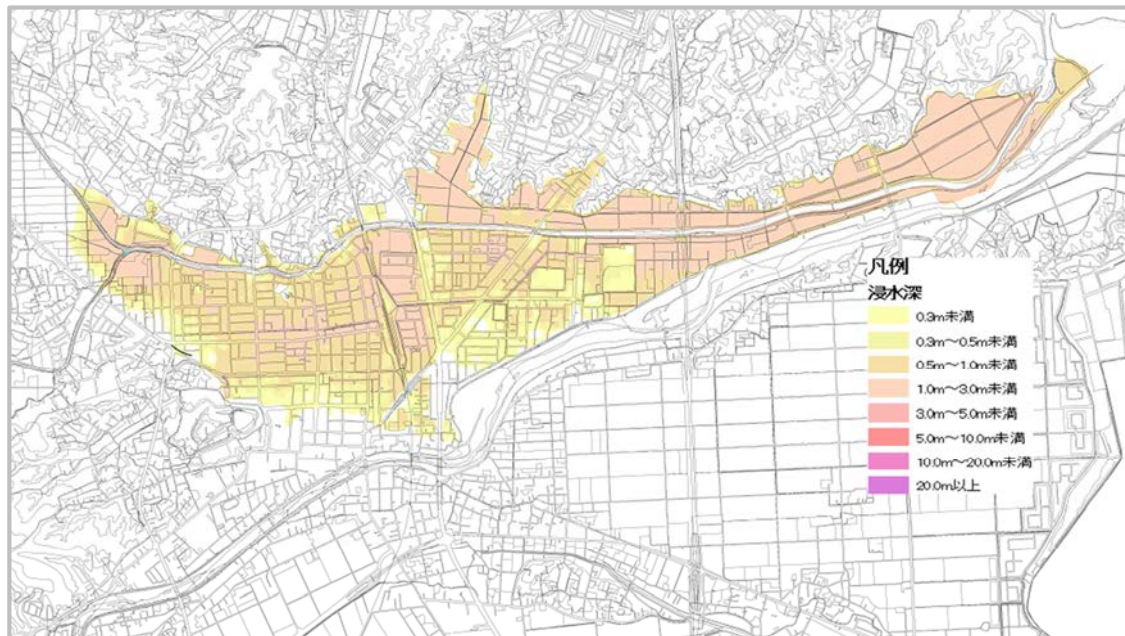


図24 各施設の分布状況

5. 防災

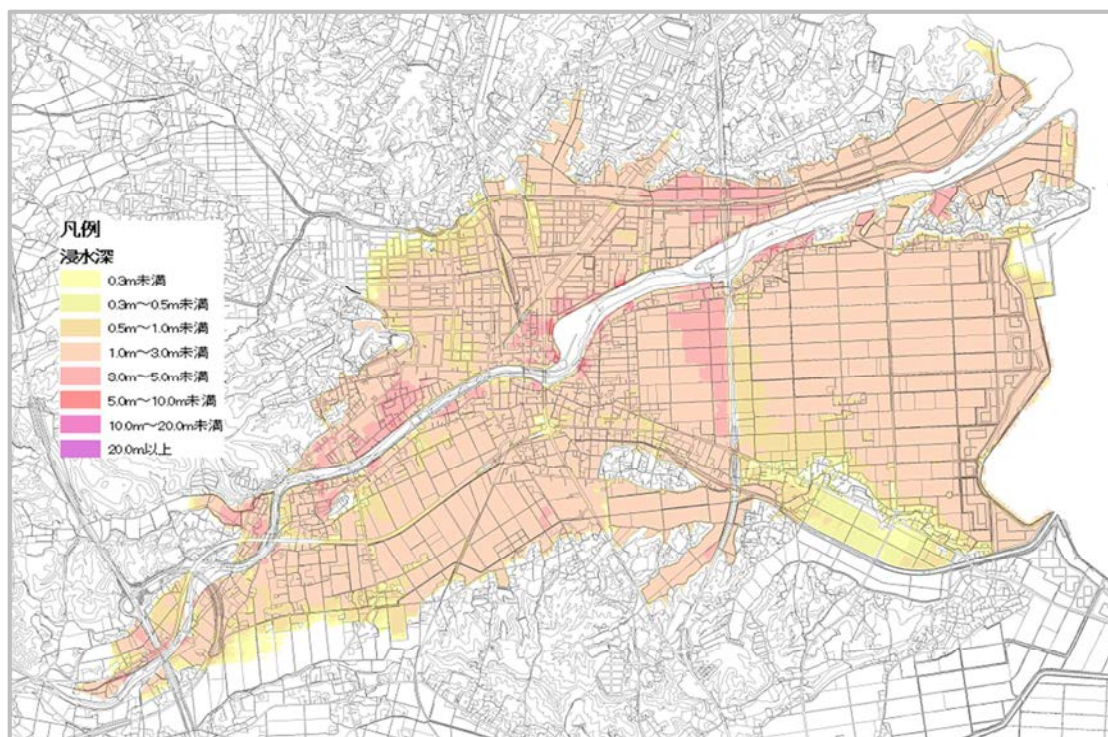
(1) 洪水 浸水想定区域

福島県では、水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域である洪水浸水想定区域を指定しています。



出典：福島県浸水想定区域図（令和元年10月18日指定）を加工して作成

図25 二級河川小泉川水系 宇多川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

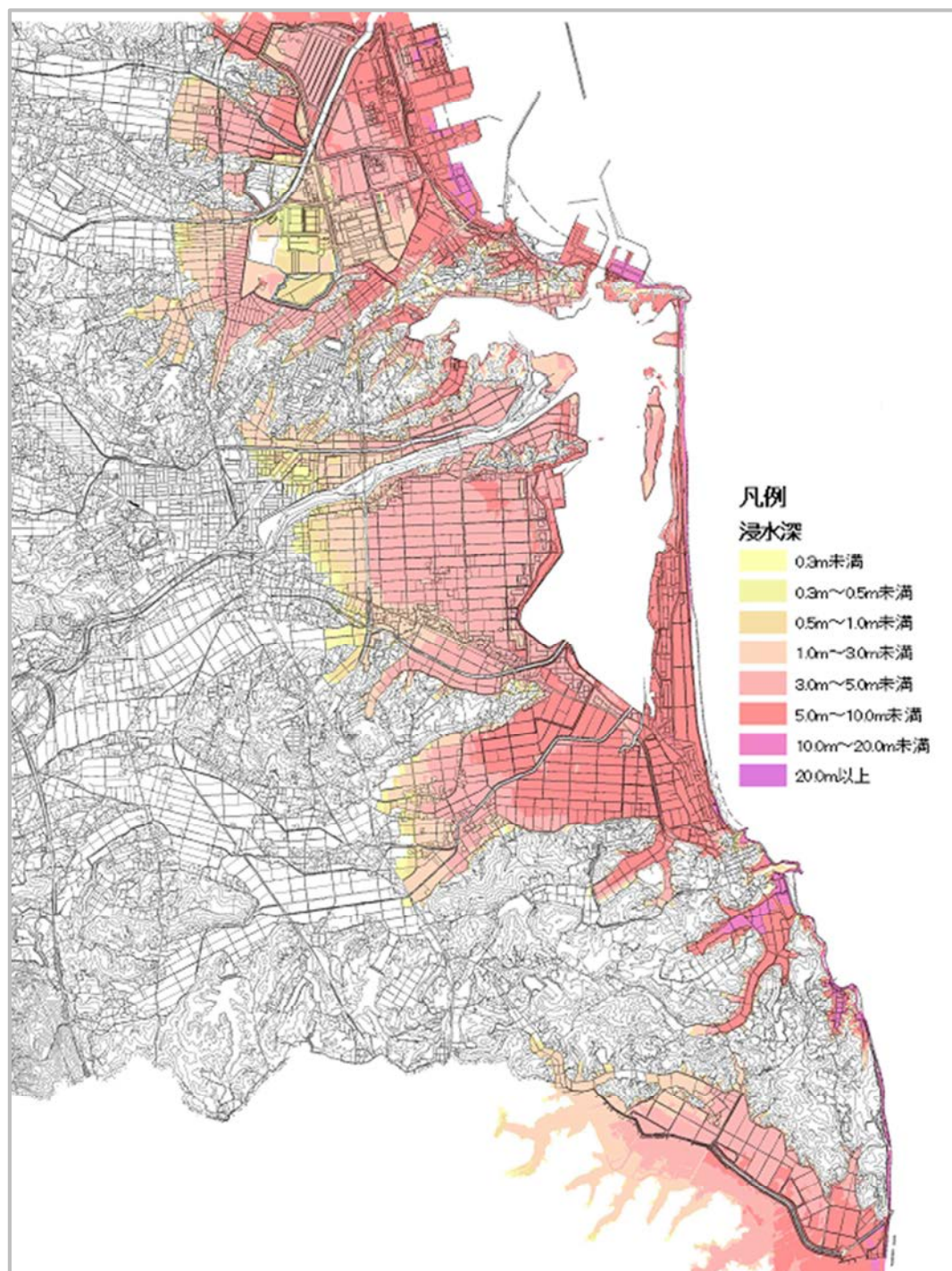


出典：福島県浸水想定区域図（平成31年3月29日指定）を加工して作成

図26 二級河川宇多川水系 宇多川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

（2）津波 浸水想定区域（想定最大規模）

福島県では、津波防災地域づくりに関する法律に基づき、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」が沿岸に到達した場合の津波浸水想定（想定される浸水の区域及び水深）を設定しています。また、津波浸水想定を踏まえ、津波による人的被害を防止するために、警戒避難体制を特に整備する区域として、津波災害警戒区域（イエローゾーン）を指定しています。

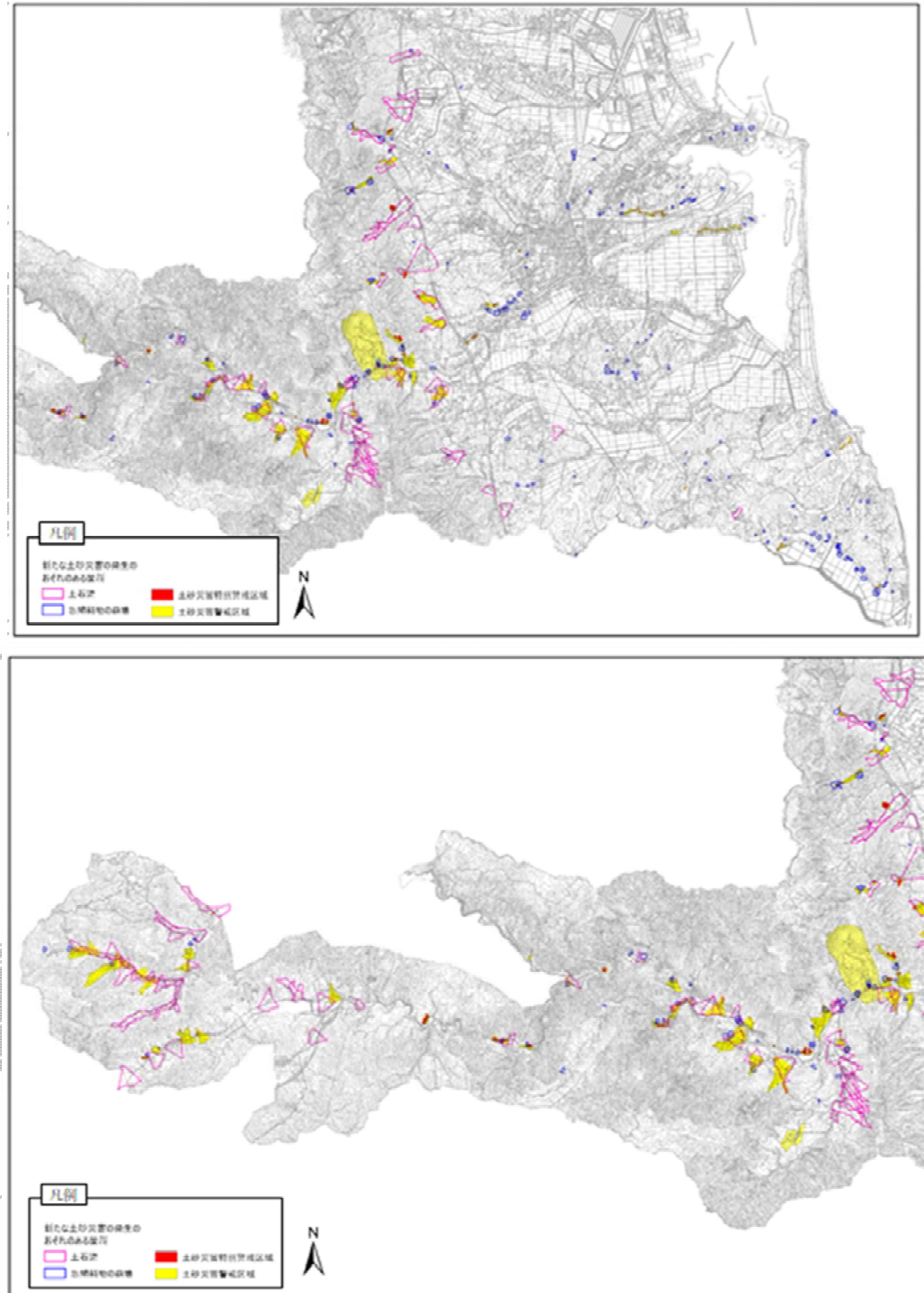


出典：福島県浸水想定区域図（令和4年8月31日公表）を加工して作成

図27 津波 浸水想定区域（想定最大規模）

(3) 土砂災害警戒区域等

福島県では、住民の早期避難行動につながるよう、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域等を指定しています。また、国の土砂災害危険防止基本指針に基づき、「新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所」を公表（令和6年6月）しています。



出典：土砂アラート（福島県土砂災害情報システム）を加工して作成

図28 土砂災害警戒区域等

第3節 都市構造評価

1. 都市構造評価の基本的な考え方

今後の人口減少社会に対応できる持続可能な都市を目指すためには、現状都市の状況を分析する必要があります。

「都市構造の評価に関するハンドブック（平成26年8月国土交通省）」を参考に、本市の都市構造に関する指標を数値化し、都市の現状を評価しました。

表15 都市構造評価における指標例

【(I)立地適正化計画等において都市機能や居住を誘導する区域を設定・検討している都市向けの指標例】

＜留意事項＞

i. ■は各項目の代表的な指標を表し、□は、■の指標を代替し、または補充する参考指標を表す。

ii. ■の指標値は、将来値の推計が可能と考えられる指標を表す（Ⅲ、2を参照）。

iii. ■の指標値に係る平均値は、国勢調査、国土数値情報データ等を用いたメッシュベースの概算値。
（各都市における算定・推計にあたり必要な場合には、このデータベースの活用についてご相談ください。）

iv. 「一」は、市町村の全国データが存在しない等の要因から全国、都市規模別の平均値が算定できないことを表す。

v. 都市規模別平均値は、基本的に都市計画区域を有する全ての市町村の平均値を掲載（人口10万人以上都市限定などの例外あり）。
また、各市町村の指標は基本的に行政区全域で算出。

vi. 「居住を誘導する区域」、「都市機能を誘導する区域」にかかる平均値（平均）は、便宜上、市街化区域等における平均値を掲載。

評価分野・評価軸	評価指標	単位	都市規模別平均値					
			全国	三大都市圏	政令市	概ね50万	概ね30万	10万以下
① 生活利便性	◎居住機能の適切な誘導							
	■日常生活サービスの徒歩圏(※1)充足率	%	43	53	63	47	30	—
	■居住を誘導する区域における人口密度	人/ha	64	79	62	48	44	—
	■生活サービス施設(※2)の徒歩圏人口カバー率	%	85	92	91	86	76	—
	一各生活サービス施設の徒歩圏に居住する市民の比率	%	79	83	90	85	73	—
	■基幹的公共交通路線(※3)の徒歩圏人口カバー率	%	75	83	82	75	65	—
	□公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合	%	55	66	72	58	40	—
	□公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合	%	48	52	56	50	46	46
	◎都市機能の適正配置							
	■生活サービス施設の利用圏平均人口密度	医療 人/ha	39	56	37	24	20	—
② 健康・福祉	一各生活サービス施設の徒歩圏における平均人口密度	福祉 人/ha	38	56	35	22	19	—
	■公共交通の機関分担率	人/ha	42	60	43	29	24	—
	□公共交通の機関分担率	%	14	24	14	7	8	6
	□市民一人当たりの自動車総走行台キロ	台キロ/人	13.2	10.8	9.0	9.1	10.4	14.2
	■公共交通沿線地域(※4)の人口密度	人/ha	35	54	31	19	16	—
	◎徒歩行動の増加と市民の健康の増進							
	■メタボリックシンドロームとその予備軍の割合	%	27	—	—	—	—	—
	□人口10万人あたり糖尿病入院患者数	人	29	18	26	24	49	—
	■徒歩と自転車の機関分担率	%	30	34	34	30	28	23
	□高齢者の外出率	%	66.0	69.6	66.8	68.8	64.3	61.1
③ 安全・安心	□〈再掲〉市民一人当たりの自動車総走行台キロ	台キロ/人	13.2	10.8	9.0	9.1	10.4	14.2
	◎都市生活の利便性向上							
	■高齢者徒歩圏(※5)に医療機関がない住宅の割合	%	58	48	31	37	50	66
	■高齢者福祉施設(※6)の1km圏域高齢人口(※7)カバー率	%	72	75	86	80	67	—
	■保育所の徒歩圏0～5歳人口カバー率	%	74	81	80	76	66	—
	■買い物への移動手段における徒歩の割合	%	19	25	25	18	16	11
	■〈再掲〉公共交通の機関分担率	%	14	24	14	7	8	6
	□〈再掲〉日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	43	53	63	47	30	—
	◎歩きやすい環境の形成							
	■歩行者に配慮した道路(※8)の延長比率(都市機能を誘導する区域)	%	—	—	—	—	—	—
④ 安全・安心	□歩道整備率(※9)	%	52	57	57	56	55	47
	■高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合	%	52	45	32	49	51	58
	□公園緑地の徒歩圏人口カバー率(居住を誘導する区域)	%	83	92	92	89	71	—
	□居住を誘導する区域における緑被率	%	—	—	—	—	—	—
	◎安全性の高い地域への居住誘導							
	■防災上危険性が懸念される地域(※10)に居住する人口の割合	%	—	—	—	—	—	—
	◎歩行者環境の安全性向上							
	■〈再掲〉歩行者に配慮した道路の延長比率(都市機能を誘導する区域)	%	—	—	—	—	—	—
	□〈再掲〉歩道整備率	%	52	57	57	56	55	47
	◎市街地の安全性の確保							
	■市民一人あたりの交通事故死亡者数	人	0.46	0.36	0.29	0.38	0.45	0.57
⑤ 安全・安心	■公共空間率(居住を誘導する区域)	%	—	—	—	—	—	—
	■最寄り緊急避難場所までの平均距離	m	677	518	572	675	703	719
⑥ 安全・安心	◎市街地景観の抑制							
	■空き家率	%	6.0	4.6	3.7	4.3	5.3	7.3

評価分野・評価軸		評価指標	単位	都市規模別平均値					
				全国	三大都市圏	地方都市圏			
						政令市	概ね50万	概ね30万	10万以下
④ 地域経済	③ サービス産業の活性化	■ 従業者一人当たり第三次産業売上高	百万円	10.3	10.4	17.1	15.1	11.6	9.4
		■ 従業員人口密度（都市機能を誘導する区域）	人/ha	23	30	31	20	16	—
		■ 都市全域の小売商業床面積あたりの売上高（小売商業床効率）	万円/㎡	80.4	88.6	86.2	77.1	71.1	—
	③ 健全な不動産市場の形成	■ 都市機能を誘導する区域における小売商業床効率	万円/㎡	87.3	95.2	90.3	81.8	76.6	—
		■ <再掲>空き家率	%	6.0	4.6	3.7	4.3	5.3	7.3
		■ 平均住宅宅地価格（居住を誘導する区域）	千円/㎡	99	138	78	65	50	—
⑤ 行政運営	③ 都市経営の効率化	■ 市民一人当たりの都市構造に関連する行政経費（※11）	千円	—	—	—	—	—	—
		□ 市民一人当たりの歳出額	千円	492	431	425	373	394	550
		□ 財政力指数	—	0.69	0.75	0.77	0.75	0.65	0.57
		■ 市街化調整区域等における開発許可面積の市街化区域等における開発許可面積に対する割合（※12）（過去3年間の平均値）	%	72	45	98	65	106	—
		■ <再掲>居住を誘導する区域における人口密度	人/ha	64	79	62	48	44	—
		■ <再掲>公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	35	54	31	19	16	—
		■ <再掲>徒歩・自転車の機関分担率	%	30	34	34	30	28	23
	③ 安定的な税収の確保	■ 市民一人当たり税収額（個人市民税・固定資産税）	千円	115	131	133	128	117	103
		■ <再掲>従業者一人当たり第三次産業売上高	百万円	10.3	10.4	17.1	15.1	11.6	9.4
		■ <再掲>都市機能を誘導する区域における小売商業床効率	万円/㎡	87.3	95.2	90.3	81.8	76.6	—
		■ <再掲>平均住宅宅地価格（居住を誘導する区域）	千円/㎡	99	138	78	65	50	—
		③ 運輸部門の省エネ・低炭素化	■ 市民一人当たりの自動車CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	1.11	0.91	0.76	0.77	0.88
	■ <再掲>公共交通の機関分担率		%	14	24	14	7	8	6
	□ <再掲>市民一人当たりの自動車総走行台キロ		台キロ/人	13.2	10.8	9.0	9.1	10.4	14.2
③ 民生部門の省エネ・低炭素化	■ 家庭部門における一人当たりのCO ₂ 排出量		t-CO ₂ /年	0.43	0.41	—	—	—	—
	■ 業務部門における従業者一人当たりのCO ₂ 排出量		t-CO ₂ /年	1.21	1.28	—	—	—	—
	□ 新築建築物の省エネ基準達成率	%	—	—	—	—	—	—	

【凡例・摘要】

① 都市規模別平均値における都市類型

三 大 都 市 圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、兵庫県

政 令 市：上記以外の地方圏に存する政令指定都市

概ね50万都市：地方圏に属する人口40万～70万人の都市

概ね30万都市：地方圏に属する人口10万～40万人の都市

10万以下都市：地方圏に属する人口10万人以下の都市

※都市規模別平均値の算出にあたり、全国パーソントリップ調査データを使用している関係上、都市規模区分は、同調査における都市区分を踏まえて設定。

② 各評価指標に係る注釈

※1) 「徒歩圏」は、一般的な徒歩圏である半径800mを採用。バス停は誘致距離を考慮し300m。

なお、本指標は、以下の「生活サービス施設」及び「基幹的交通路線」の全てを徒歩圏で享受できる人口の比率。

※2) 「生活サービス施設」は以下の通り。

医療施設…病院（内科又は外科）及び診療所 福祉施設…通所施設、訪問系施設、小規模多機能施設

商業施設…専門スーパー、総合スーパー、百貨店

※3) 「基幹的公共交通路線」は、日30本以上の運行頻度（概ねピーク時片道3本以上に相当）の鉄道路線及びバス路線。

※4) 「公共交通沿線地域」は、全ての駅、バス停の徒歩圏（駅については800m、バス停については300m）

※5) 「高齢者徒歩圏」は、高齢者の一般的な徒歩圏である半径500mを採用。

（主に高齢者をターゲットとしている指標については、その評価にあたり、主として高齢者徒歩圏を採用）

※6) 対象としている「高齢者福祉施設」は、※2における福祉施設に同じ。

※7) 「高齢人口」は65歳以上人口。1km圏域は厚生労働省の「地域包括ケアシステム」の日常生活圏を想定して設定。

※8) 「歩行者に配慮した道路」としては、歩行者専用道路、コミュニティ道路、歩道整備済道路等を想定。

※9) 「歩道整備率」は道路交通センサスの一般交通量調査対象道路（高速自動車国道・都市高速道路を除く）で算出。

※10) 「防災上危険性が懸念される地域」は、地域の状況や防災計画の考え方が都市毎に様々であるため、一律に定義するものではない。

※11) 「都市構造に関連する行政経費」は、市街地の広がりや人口分布など都市構造の形態により増減する以下の経費。

◇公共施設の維持・管理・更新経費（学校、公民館・地域センター等）◇インフラの維持・管理・更新経費（道路、公園、上下水道）

◇巡回型の行政サービスに係る経費（ゴミ収集、公共交通、訪問・通所型公営福祉施設）等

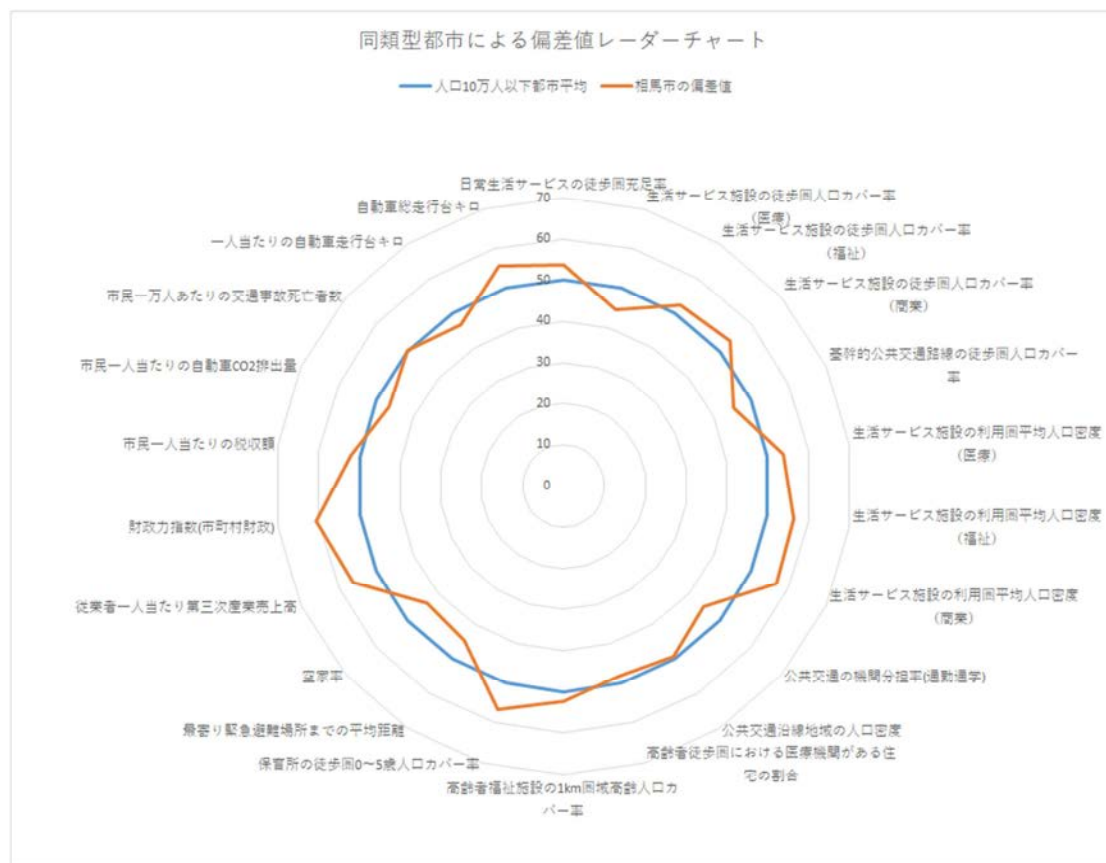
※12) 市街化区域等とは、市街化区域又は非線引き都市計画区域における用途地域を指定している区域。

※データ出典・算出方法は14・15ページを参照。

2. 評価結果

本市の評価に採用した指標項目と実績値は以下のとおりです。

都市規模「人口10万人以下」の平均値と本市の偏差値を以下のレーダーチャートで示すと次ページのようになります。



出典：国土交通省都市モニタリングシート（平成29（2017）年度版）」より作成

図29 都市構造の評価（レーダーチャート）

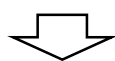
3. まとめ

■都市規模「人口10万人以下」の平均値と本市の偏差値を比較した評価結果は以下のとおりです。

- ・生活利便性の指標である「生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（医療）」「基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率」が平均値より低く、「日常生活サービスの徒歩圏充足率」「生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（商業）」「生活サービス施設の利用圏平均人口密度（医療、福祉、商業）」が平均値より高くなっています。

- ・健康・福祉の指標である「高齢者徒歩圏における医療機関がある住宅の割合」が平均値より低く、「保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率」が平均値より高くなっています。

- ・安心・安全の指標である「最寄り緊急避難場所までの平均距離」が平均値より低くなっています。



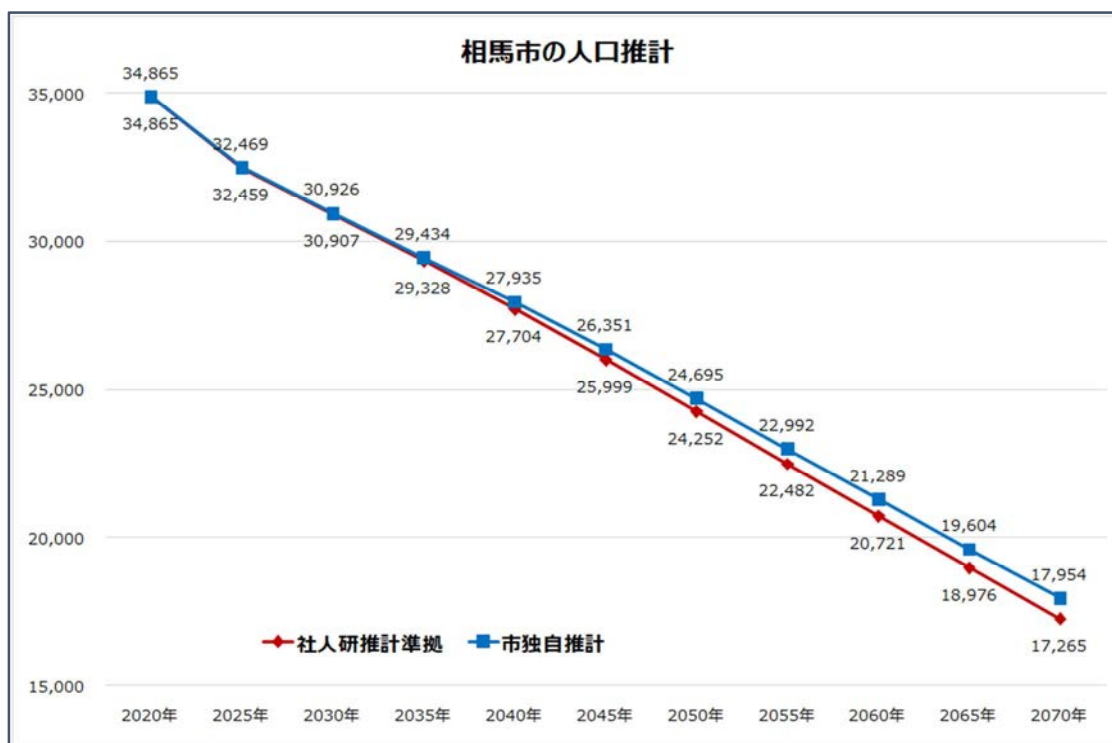
■主に公共交通の運行頻度に本市の課題があると推察されます。

（※都市構造評価は都市全体を対象とする。）

第4節 人口将来見通しの分析

1. 「相馬市人口ビジョン」による推計値

「相馬市人口ビジョン」において、転入の促進や転出抑制につながる雇用の確保、安心して出産・子育てができる環境の整備・充実、子育てに関する支援などの取組により、令和27（2045）年の人口は約26,000人と人口展望（推計）しています。



出典：「相馬市人口ビジョン」

図30 相馬市の人口推計

2. 人口の将来見通し

本市の将来人口は、令和27（2045）年に約26,000人と推計しています。

本計画における将来人口にあたっては、「国立社会保障・人口問題研究所」による「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」による推計人口をもとに、地域別の将来の人口動向（令和27（2045）年）を人口メッシュにより把握します。

(1) 総人口

令和27(2045)年の総人口の動向を500mメッシュで見ると、人口減少に伴い、人口集中ブロックが減少している箇所がみられます。

用途地域中心地以外でも人口減少している箇所がみられます。

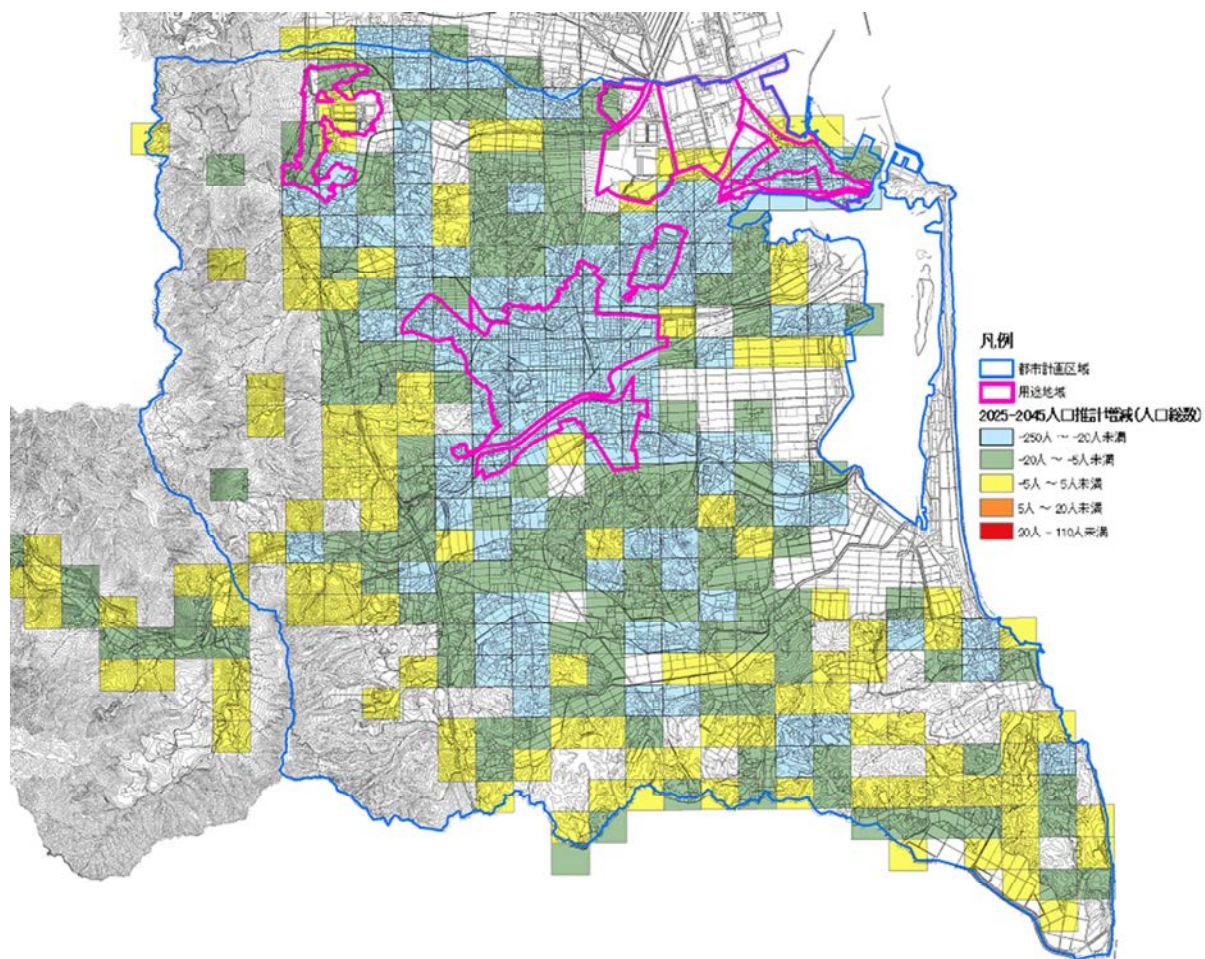


図31 人口メッシュ増減（令和7（2025）年～令和27（2045）年 総人口）

(2) 年少人口

令和 27 (2045) 年の年少人口の動向を 500mメッシュで見ると、人口減少に伴い、人口集中ブロックが減少している箇所がみられます。

用途地域中心地以外でも人口減少している箇所がみられます。

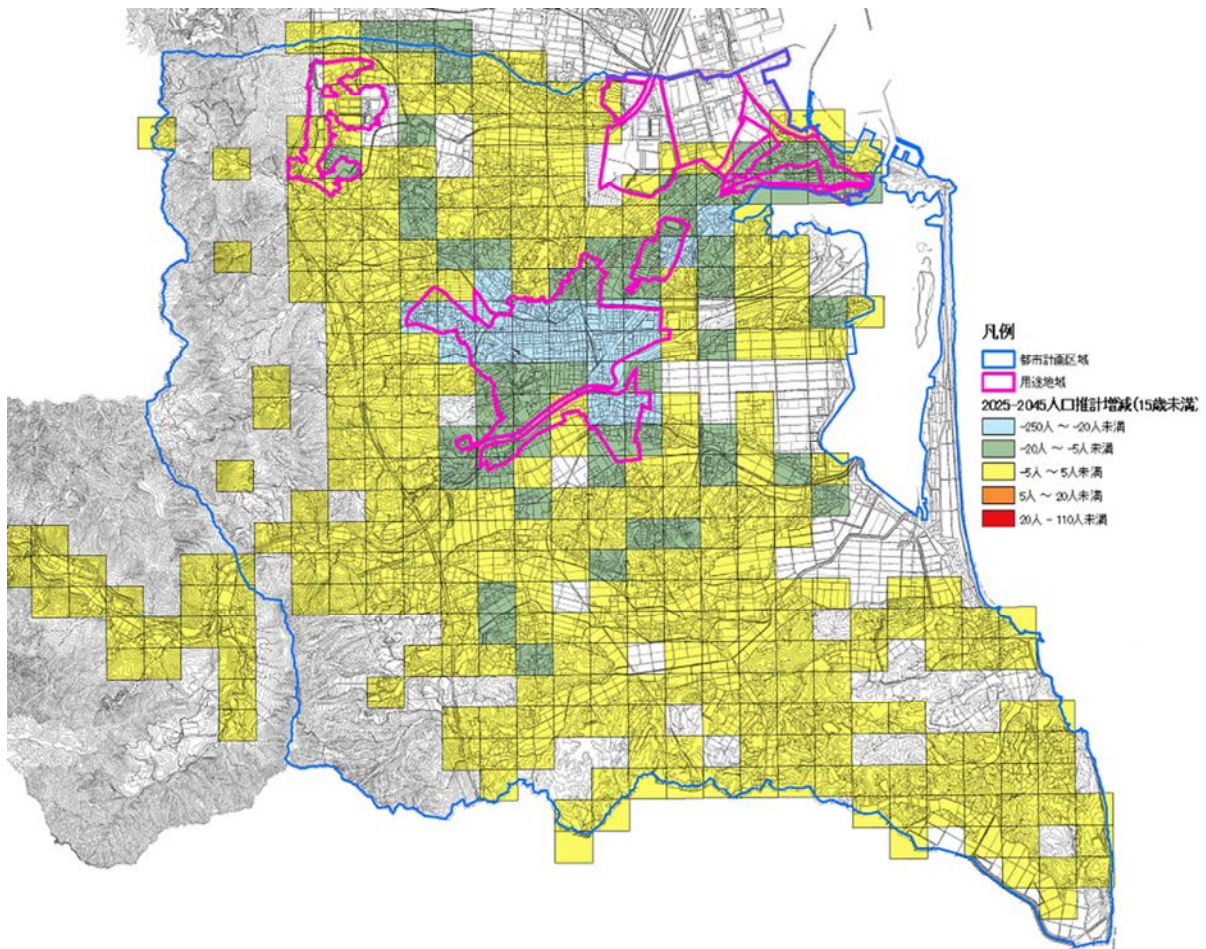


図 32 人口メッシュ増減 (令和 7 (2025) 年~令和 27 (2045) 年 年少人口)

（3）生産年齢人口

令和27（2045）年の生産年齢人口の動向を500mメッシュで見ると、人口減少に伴い、人口集中ブロックが減少している箇所がみられます。

用途地域中心地以外でも人口減少している箇所がみられます。

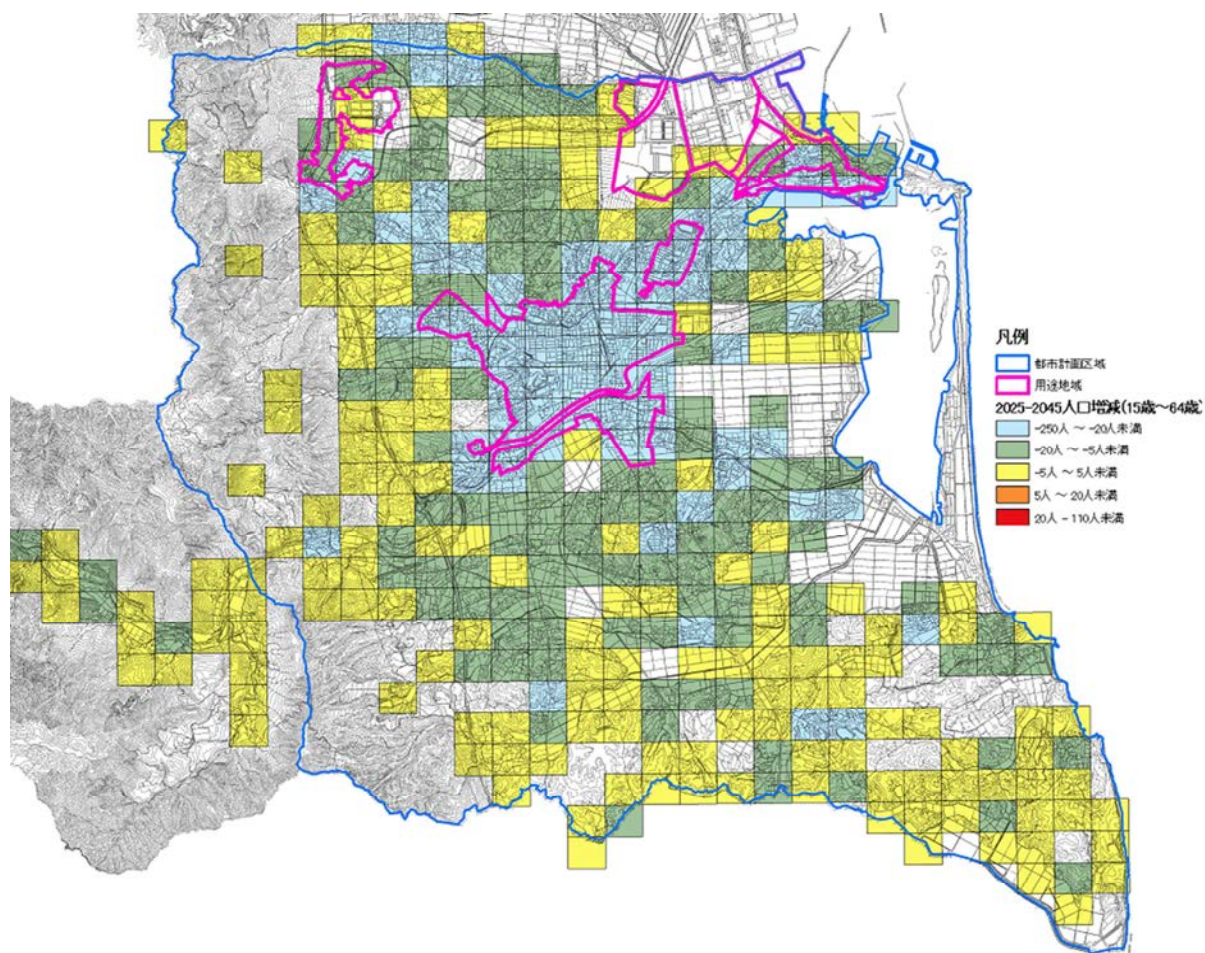


図33 人口メッシュ増減（令和7（2025）年～令和27（2045）年 生産年齢人口）

(4) 高齢者人口

令和27(2045)年の高齢者人口の動向を500mメッシュで見ると、人口減少に伴い、人口集中ブロックが減少している箇所がみられますが、中心地で増加している箇所がみられます。

用途地域中心地以外でも増加の箇所がみられます。

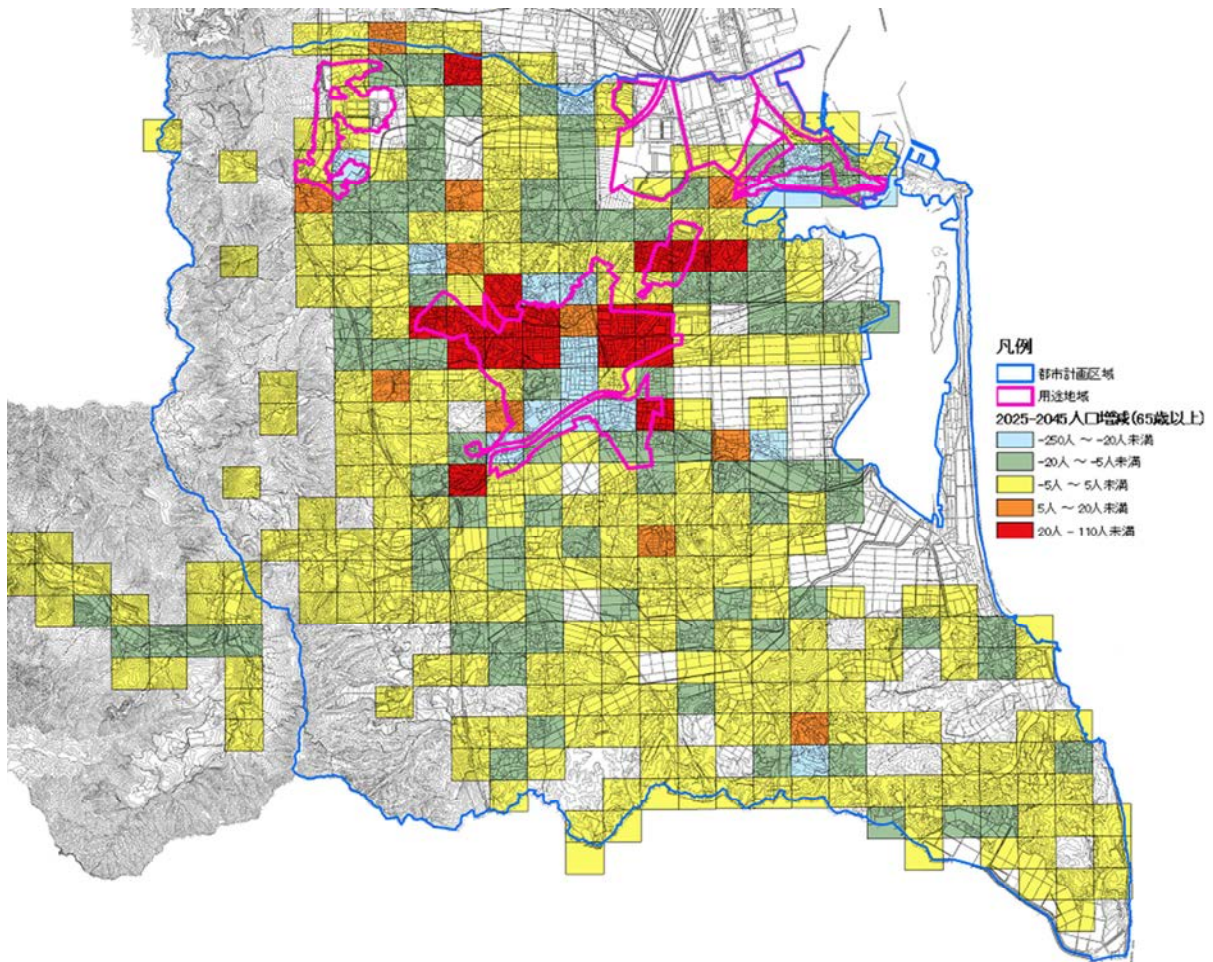


図34 人口メッシュ増減(令和7(2025)年～令和27(2045)年 高齢者人口)

(5) 地域別の将来人口まとめ

- 人口が集積している用途地域内においても人口減少が想定されます。
- 用途地域外においては、大幅な人口減少が想定されます。

第5節 都市づくりの課題整理

1. 現状把握からみた問題点・課題

分類	主な問題点・課題
①人口	今後も人口減少・少子高齢化の進行が予想されます。人口減少が続く中でも都市機能や生活関連サービスを維持していくために、人口流出抑制や人口流入促進を進め、人口密度を維持していく必要があります。 地域別でみるとＪＲ相馬駅周辺の中心市街地や新沼字刈敷田に比較的人口集積が高い箇所がみられます。
②まちづくり・土地利用	ＪＲ相馬駅を中心に既にコンパクトな市街地が形成されています。しかしながら、近年、水害や地震災害が頻発し空き地・空き家が増加、市街地の低密度化が進んでいます。適正な市街地規模を維持するためには、計画的にまちづくりを進めていく必要があります。
③公共交通	バス交通は、ＪＲ相馬駅を中心に福島交通（株）によるバスネットワークが形成されています。 高齢化が進行しているため、鉄道・バス等公共交通サービス向上によるアクセス利便性の拡充が重要です。本市では市内在住65歳以上の方向けに「おでかけミニバス」を運行しています。今後も、公共交通の維持が重要です。
④都市機能の分布状況	用途地域内の都市機能施設のうち、商業施設、医療施設は用途地域全体をカバーしています。子育て支援施設は用途地域内で十分にカバーされていないものの、市内全体で利用ニーズはカバーされています。 用途地域以外の各地域においても各都市機能施設の分布がみられます。
⑤防災	本市を流れる小泉川・宇多川沿いを中心に洪水浸水想定区域が該当しており、用途地域内では、ＪＲ相馬駅 東西エリアを中心に多くのエリアが該当しています。 洪水浸水想定区域に該当しているエリアについては、浸水等に対する防災対策と避難誘導対策が十分に行われることを前提に、居住誘導区域を適切に設定することが重要になります。

2. 都市構造評価からみた問題点・課題

分類	主な問題点・課題
都市構造評価	都市生活や徒歩圏生活の利便性等に関する平均値よりも低くなっていることから、主に公共交通の運行頻度に本市の課題があると推察されます。 （※都市構造評価は、都市全体を対象とする。）

3. 人口将来見通しからみた問題点・課題

分類	主な問題点・課題
上位計画	「相馬市人口ビジョン（相馬市地方創生総合戦略会議）」では、相馬市の人口は既に人口減少の第2段階（人口急減期）に差し掛かっている状況にあり、婚姻数の減少を背景とした出生数の減少は、近年になって厳しさを増していると分析しています。このままの状況が続けば、将来的に地域コミュニティの維持に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。また、若者の転出及びUターン者の減少を背景とした社会減の状況が継続していることから、人材確保が困難となり、産業の活力を削いでしまうことも懸念されます。
将来見通し	用途地域外において、少子高齢化に伴う人口減少が著しく、また用途地域内においても今後は人口の減少が想定されます。また、転出が続いていくことにより、人口減少に拍車がかかることが危惧されています。 将来的に人口減少・高齢化の流れが加速していくと、生産年齢人口が減少し、生活関連サービスや行政機能の維持が難しくなる可能性もあります。